

まちづくりの基本目標  
～ 人と自然が共生する安全なまち ～

市民と市民、市民と市の連携を深めながら、地域の中で日常生活を安全に送られる環境づくりと、人と自然が共生できる環境づくりを推進し、誰もが住みたくなるまちを目指します。

【基本構想】より



阿賀野市市章



阿賀野市消防本部  
(エンブレム)

阿賀野市の「ア」で阿賀野川に抱かれた緑豊かな阿賀野市の明るく元気な姿をデザイン。

「21世紀に躍進するオアシス都市阿賀野」が力強く飛躍し発展する勇姿を象徴。

最上部に市章。中央に消防部局の使命である市民の生命、身体、財産を守る消防・救助・救急の文字を配し、消防のイメージカラーであるオレンジで囲むことで消防署員のチームワークを表現。

# 目 次

## 〔総 務〕

1. 阿賀野市の概要と沿革…………… 1
2. 阿賀野市消防本部のあゆみ…………… 3
3. 阿賀野市消防本部管轄区域図…………… 12
4. 阿賀野市構造…………… 13
5. 消防庁舎現況…………… 14
6. 消防機構…………… 15
7. 消防予算歳出内訳…………… 16
8. 消防費と人口・世帯の割合…………… 18
9. 消防吏員及びポンプ車の単位当りの面積・人口・世帯数…18
10. 消防吏員数
  - (1) 階級別…………… 19
  - (2) 勤続年数別…………… 19
  - (3) 年齢別…………… 19
11. 消防吏員特殊技能資格取得状況…………… 20

## 〔防 災〕

12. 消防通信系統図…………… 22
13. 消防緊急通信指令施設構成…………… 23
14. 無線局の配備状況…………… 24
15. 消防車両一覧…………… 26
16. 特殊機器等保有状況…………… 27
17. 消防水利の状況…………… 29
18. 火災統計
  - (1) 出火件数…………… 30
  - (2) 原因別出火状況…………… 30
  - (3) 月別出火状況…………… 30
  - (4) 曜日別出火状況…………… 31
  - (5) 時間帯別出火状況…………… 31
  - (6) 気象別出火状況…………… 32
  - (7) 平成27年火災記録明細表…………… 34
  - (8) 月別火災発生状況…………… 35
  - (9) 平成27年地区別火災記録明細表…………… 37
  - (10) 火災状況(5年間) …… 38
  - (11) 月別火災件数(5年間) …… 39

## 〔予 防〕

19. 危険物
  - (1) 製造所等の施設状況…………… 40
  - (2) 製造所等の年度別施設状況…………… 40
  - (3) 製造所等の許可・完成検査・廃止等の状況…………… 41
  - (4) 類別・製造所等の状況…………… 41

(5) 数量別・製造所等の状況	42
(6) 危険物施設立入検査の状況	42
20. 防火対象物	
(1) 150㎡以上の防火対象物の状況(棟別)	43
(2) 防火管理者・消防計画届出・防火対象物数の状況	46
(3) 防火対象物立入検査の状況	49
(4) 消防用設備等着工届受理状況	51
(5) 消防用設備等設置届受理状況	51
(6) 火災予防条例施行規則に基づく届出状況	52
21. 建築確認申請同意処理状況	
(1) 用途別同意件数	53
(2) 構造別同意件数	55
(3) 工事別同意件数	56

[救急・救助]

22. 救急統計	
(1) 出場件数、搬送人員状況(5年間)	57
(2) 主な事故種別割合(5年間)	57
(3) 傷病者の住所別搬送状況	57
(4) 平成27年救急出場状況	58
(5) 月別出場状況	59
(6) 傷病程度別搬送人員	59
(7) 覚知時刻別出場件数	60
(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員	60
(9) 現場到着所要時間別出場件数	61
(10) 収容所要時間別搬送人員	61
(11) 急病、発生場所別搬送人員	62
(12) 一般負傷、発生場所別搬送人員	62
(13) 応急処置等の状況	63
(14) 磐越自動車道における救急出動状況	63
(15) C P A症例の状況	64
(16) 応急手当普及活動状況	65
23. 収容状況	
(1) 収容状況	66
(2) 事故種別転送回数搬送人員	67
(3) 急病に係る疾病分類と搬送人員	67
24. 救助統計	
(1) 救助活動状況	68

[消防団]

25. 消防団員数・年報酬等調べ	
(1) 年報酬	69
(2) 諸手当	69

(3) 消防団員数	69
(4) 年齢別消防団員数	69
(5) 在職年数別消防団員数	70
26. 消防団機械器具	70

〔気 象〕

27. 平成27年気象状況	
(1) 月別天候(9時現在)(3年間)	71
(2) 平成27年の天候割合(9時現在)	71
(3) 月別平均温度(3年間)	72
(4) 平成27年月別最高・最低気温	72
(5) 月別平均相対湿度(3年間)	73
(6) 月別平均実効湿度(3年間)	73
(7) 月別最低実効湿度(3年間)	74
(8) 月別平均風向	75
(9) 月別風速	75
(10) 月別降雨量(3年間)	76
(11) 年別総降雨量(3年間)	76
(12) 年別1日最高降雨量(3年間)	77
(13) 最多積雪(3年間)	78
28. 安田地区気象状況	
(1) 年間気温・湿度	79
(2) 火災警報発令件数及び延べ日数	79
(3) 風向(9時から翌日9時までの 24時間中の主たる風向)	79
(4) 風速	80
(5) 降雨量	80
(6) 最高・最低気温	81
(7) 相対・実効湿度	81

〔付 録〕 幼少年女性防火委員会

1. 幼年消防クラブ結成状況
2. 女性防火クラブ結成状況

# 総務



平成 27 年度全国統一防火標語

無防備な 心に火災が かくれんぼ



阿賀野市消防本部庁舎(左)と

平成 26 年 4 月 1 日業務開始のかがやき分署庁舎(右)

# 1. 阿賀野市の概要と沿革

阿賀野市は、新潟平野のほぼ中央に位置し、南側に大河阿賀野川が流れ、東側に標高1,000メートル級の山々が連なる五頭連峰を背にして形成された扇状地に6,500ヘクタール余りの水田が広がる穀倉地帯です。

県都新潟市から南東へ約20キロメートル、東は新発田市、阿賀町、西は新潟市、南は五泉市、阿賀町、北は新潟市、新発田市にそれぞれ接しています。磐越自動車道と国道49号が南北に、国道460号と290号、JR羽越本線が東西に走り、県都に隣接する自然環境豊かな地域です。

阿賀野市は、東西約18.5キロメートル、南北約15.3キロメートルで、192.7平方キロメートルの面積を有しています。地目別に見ると、農地が73.2平方キロメートル、宅地が12.1平方キロメートル、山林64.8平方キロメートルとなっています。

阿賀野市の気候は、日本海気候に属していますが、冬期間でも近年の暖冬傾向により、小雪で日常生活に支障が出るようなことはありません。春から夏にかけて、阿賀野川の水面を渡るように、時折強い東南(ダシ)の風がこの地域を吹き抜けます。

自然山水はすべて五頭山脈に源流を發し、東から西又は北西に向かって流れていてその主なるものは、北から折居川、大荒川、安野川、ツベタ川があります。ほかに人工用水路として、小松地先阿賀野川から取水し山裾を北上して新潟東工業港へと延びる阿賀右岸大規模用水の幹線及び支線、水路が管内殆どの農地を潤すとともに、農閑期でも大切な消防水利となっています。

道路網は、磐越自動車道が南部を横断し、市内唯一の安田インターチェンジがあります。国道49号が中心部を貫いて、新発田・新潟を結ぶ国道460号と交差しており、更に国道290号が山沿いを走り五泉市へと延びています。県道は、市街地から放射線状に、水原・出湯線、大室・水原線、新関・水原停車場線、新潟・長浦線等があります。

平成6年7月28日、磐越自動車道、安田インター・新潟中央インター間が、平成8年11月14日安田インター・津川インター間の供用開始、平成9年10月1日全線開通により新潟市はじめ県内外からの交通アクセスがより良くなりました。

JR羽越線新津・新発田間が平野部を南西から北東に走り、「きょうがせ」、「すいばら」、「かみやま」の3駅があります。

阿賀野市は、有史以来交通、経済、文化、軍事の要衝となり、徳川時代には幕府直轄の奉行所や代官所が置かれ、廃藩置県前後の明治2年には越後府が置かれ水原県となり、やがて新潟県と変遷したことから新潟県政発祥の地であるという自負もあり、平成7年8月には水原代官所を復元しました。

市内の安田地区、笹神地区、京ヶ瀬地区は支配系統の異なる新発田領でしたが、日常生活、経済活動に最も密接な水原地区の市場を中心に共同生活圏が生成され一体感が培われ今日に至っています。

これらを背景として昭和41年4月旧町村及び消防機関の協議会の総会において広域消防早期実現の決議がなされ、この方針に則り、県の助言指導を受けながら事務担当者から消防機関、町村執行部、議会へと段階的に広く研究協議を重ね、紆余曲折の末、昭和45年10月1日から救急業務を旧水原町に委託する方法により開始し、昭和48年4月1日一部事務組合が発足し、常備消防だけではありますが一体化が実現しました。

その後昭和54年4月1日、阿賀北広域組合水原郷消防本部が発足。

平成16年4月1日、水原町・安田町・笹神村・京ヶ瀬村が町村合併し、阿賀野市が誕生、阿賀野市消防本部となり、平成26年に10周年を迎え、現在に至ります。

## 2. 阿賀野市消防本部のあゆみ

昭和48. 4. 1 水原郷消防組合発足、構成町村 水原町、安田町、笹神村 京ヶ瀬村、組合管理者に水原町長佐藤貞太郎就任（消防長事務取扱）水原郷消防職員として水原町退職者23名、安田町退職者6名、笹神村退職者3名を採用。新採用20名を含め常勤職員総員52名となる。

旧水原町消防庁舎を利用し消防本部・署を設置、消防自動車2台、救急車1台、指令車1台、署員33名、旧安田町消防本部を利用し安田分遣所を設置、消防車1台・救急車1台署員7名、旧笹神村消防団本部を利用し笹神分遣所を設置、消防車1台、署員6名、旧京ヶ瀬村農業共済組合事務所を利用し京ヶ瀬分遣所を設置、消防車1台、署員6名。以上の体制で発足した。

昭和48. 4. 1 阿賀野川総合運動場を阿賀野川総合運動場協議会から当消防組合が引き継ぐ。

昭和48. 7. 1 本署27名、安田分遣所9名、笹神分遣所8名、京ヶ瀬分遣所8名の体制となる。

昭和48. 9. 軽連絡車1台購入本署に配置。

昭和48. 11. 2,000リットル入りタンク車1台購入、本署に配置。

昭和48. 12. 20 管理者水原町長佐藤貞太郎退職。

昭和49. 2. 7 笹神村長折笠信雄管理者（消防長事務取扱）に就任。

昭和49. 3. 指令車更新本署に配置。

昭和49. 3. 31 職員1名退職、実員51名となる。

昭和49. 4. 1 職員新採用8名、実員59名となる。

昭和49. 4. 笹神分遣所新庁舎鉄筋コンクリート造が落成し移転。

昭和49. 6. 軽連絡車1台購入安田分遣所に配置。

昭和49. 7. 1 本署31名、安田分遣所10名、笹神分遣所9名、京ヶ瀬分

遣所9名の体制となる。

- 昭和49. 9. 8 第25回県消防大会ポンプ操法競技大会ポンプ車の部で、  
第3位入賞。（会場佐渡小木町）
- 昭和49. 10. 笹神分遣所消防車更新。
- 昭和49. 11. 21 本署消防車1台水原町消防団に返納。
- 昭和50. 4. 1 職員新採用1名、実員60名となる。
- 昭和50. 4. 阿賀野川総合運動場連絡車1台購入本署に配置。
- 昭和50. 4. 軽連絡車1台購入笹神分遣所に配置。
- 昭和51. 4. 軽連絡車1台購入京ヶ瀬分遣所に配置。
- 昭和51. 7. 機材積載車1台購入本署に配置。
- 昭和51. 10. 8 日本損害保険協会から消防車（BD-I型）1台寄贈を受け本署に配置。
- 昭和52. 3. 31 職員1名退職、実員59名となる。
- 昭和52. 4. 1 職員新採用1名、実員60名となる。
- 昭和53. 3. 31 職員1名退職により本署29名、安田分遣所10名、笹神分遣所10名、京ヶ瀬分遣所10名体制の実員59名となる。
- 昭和53. 4. 1 新発田広域消防と消防相互応援協定締結。
- 昭和53. 5. 12 安田局119番を本部へ移転。指令卓への組込は、6月5日。
- 昭和53. 7. 23 二市北蒲原地区支会ポンプ操法競技会、署ポンプ自動車の部で優勝。（会場 豊栄市）
- 昭和53. 8. 20 第29回県消防大会操法競技大会署ポンプ自動車の部で優勝。（会場 六日町）
- 昭和54. 3. 31 水原郷消防組合解散。
- 昭和54. 4. 1 阿賀北広域組合発足。  
組合構成団体に豊栄市も含まれることとなったが、消防に関しては従来通り。  
組合管理者に水原町長吉川正夫就任、消防長に小林正巳が就任した。

消防施設、消防態勢は旧水原郷消防組合より継承。

昭和54. 11. 13 村松瓦斯水道株式会社から広報車1台の寄贈を受け本署に配置。

昭和55. 2. 5 日本自動車工業会から救急車（2B型）1台の寄贈を受け本署に配置。

旧救急車（A級）は予備車として運用。

昭和55. 4. 1 職員新採用2名、本署31名、安田分遣所10名、笹神分遣所10名、京ヶ瀬分遣所10名、実員61名となる。

昭和55. 4. 1 水原郷消防署救助隊発足。

昭和55. 7. 20 二市北蒲原地区支会ポンプ操法競技大会署ポンプ自動車の部で優勝。（会場 水原町）

昭和55. 10. 24 副管理者笹神村長折笠信雄任期満了退任。

昭和55. 10. 25 笹神村長五十嵐利彦副管理者に就任。

昭和56. 1. 1 職員1名死亡退職、実員60名となる。

昭和56. 3. 1 救急医療情報システム端末機設置により運用開始（県委託）

昭和56. 3. 31 職員1名退職、実員59名となる。

昭和56. 4. 1 職員新採用2名、実員61名となる。

昭和56. 7. 24 第10回消防救助技術東北指導会初出場。（会場 仙台市）

昭和56. 11. 30 防衛施設庁補助事業により消防ポンプ自動車（BD-I型）1台購入本署に配置。

昭和57. 3. 31 消防庁舎建設用地取得、造成工事完了（6,049㎡）。

昭和57. 6. 9 副管理者京ヶ瀬村長小林健司任期満了退任。

昭和57. 6. 10 京ヶ瀬村長米山俊彦副管理者に就任。

昭和57. 11. 22 消防庁、消防施設補助事業により消防ポンプ自動車（BD-II型）1台購入安田分遣所に配置。

昭和58. 3. 新消防庁舎竣工。

昭和58. 4. 15 新庁舎に移転、業務開始。

- 昭和58. 7. 12 新消防庁舎竣工式。
- 昭和58. 8. 消防庁舎舗装工事竣工。
- 昭和58. 9. 1 豊栄市と消防相互応援協定締結。
- 昭和58. 12. 消防庁舎消雪パイプ施設工事竣工。
- 昭和59. 7. 5 屋外訓練場張芝工事竣工。
- 昭和60. 5. 幼年消防クラブ、15クラブ発足。
- 昭和60. 8. 28 職員1名退職、実員60名となる。
- 昭和60. 10. 30 消防庁消防施設補助事業により消防ポンプ自動車  
(CD- I 型) 1台購入、京ヶ瀬分遣所に配置。
- 昭和61. 4. 1 職員新採用1名、実員61名となる。
- 昭和61. 5. 幼年消防クラブ、7クラブ結成し22クラブとなる。
- 昭和61. 8. 25 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(BD- I 型)1台  
寄贈を受け本署に配置。
- 昭和62. 3. 31 職員1名退職、実員60名となる。
- 昭和62. 4. 1 職員新採用1名、実員61名となる。
- 昭和62. 5. 幼年消防クラブ、1クラブ結成し23クラブとなり、管内  
の結成率100%となる。
- 昭和62. 8. 25 N T T 衛星通信119番設置。
- 昭和63. 6. 30 職員1名退職、実員60名となる。
- 昭和63. 8. 日本消防協会から救急車(2B 型) 1台寄贈を受け本署に  
配置。旧救急車は予備車として運用。
- 平成元. 3. 31 職員2名退職、実員58名となる。
- 平成元. 4. 1 職員新採用4名、実員62名となる。
- 平成元. 5. 1 職員新採用1名、実員63名となる。
- 平成 2. 1. 1 水原郷幼少年婦人防火委員会結成。
- 平成 2. 2. 23 防衛施設庁補助事業により水槽付消防ポンプ自動車  
(水Ⅱ型) 1台購入本署に配置。
- 平成 2. 3. 31 職員2名退職、実員61名となる。

- 平成 2. 4. 1 職員新採用2名、転出1名、実員62名となる。
- 平成 2. 7. 1 安田分遣所配置の日本赤十字社救急車（2B型）更新。
- 平成 2. 8. 1 指令車更新。
- 平成 2. 9. 1 新潟県・水原郷総合防災訓練を当管内において実施。
- 平成 3. 3. 31 職員1名退職、実員61名となる。
- 平成 3. 4. 1 職員新採用4名、実員65名となる。
- 平成 4. 3. 31 職員1名退職、実員64名となる。
- 平成 4. 4. 1 定員72名、職員新採用4名、実員68名となる。
- 平成 5. 4. 1 定員78名、職員新採用5名、実員73名となる。
- 平成 5.12.16 消防庁消防施設補助事業により救助工作車1台購入、本署に配置。
- 平成 5.12.20 管理者水原町長吉川正夫任期満了退任。
- 平成 5.12.21 水原町長五十嵐雄介管理者に就任。
- 平成 6. 3. 31 職員2名退職、実員71名となる。
- 平成 6. 4. 1 定員78名、職員新採用6名、実員77名となる。安田分遣所19名体制となる。
- 平成 6. 7. 1 磐越自動車道供用開始に伴い、安田分遣所に高速救急隊発足。
- 平成 6. 7.19 磐越自動車道消防相互応援協定、締結。
- 平成 6.12.13 高速救急隊用救急車(2B型)1台更新、安田分遣所に配置。
- 平成 7. 3.22 防衛施設庁補助事業により消防ポンプ自動車（CD-I型）1台購入、笹神分遣所に配置。
- 平成 7. 3.31 副管理者笹神村長五十嵐利彦任期満了退任。
- 平成 7. 3.31 職員4名退職、実員73名となる。
- 平成 7. 4. 1 定員78名、職員新採用4名、実員77名となる。  
新潟県消防防災ヘリコプター応援協定、締結。
- 平成 7. 4.24 笹神村長佐藤一字副管理者に就任。
- 平成 8. 2. 消防庁消防施設補助事業により、消防緊急通信指令施設

設置。

- 平成 8. 3. 消防庁及び県消防施設補助事業により高規格救急車（2B型）1台購入、本署に配置。
- 平成 8. 4. 連絡車 1 台更新、本部に配置。
- 平成 8.11.11 東蒲原広域消防組合との消防相互応援協定、締結。
- 平成 9. 3. 消防ポンプ自動車（CD-I 型、900 L 水槽付）1台更新、安田分遣所に配置。
- 平成 9. 3.31 職員2名退職、実員75名となる。
- 平成 9. 4. 1 定員78名、職員新採用3名、実員78名となる。
- 平成10. 3.20 職員1名死亡退職、実員77名となる。
- 平成10. 4. 1 定員78名、職員新採用1名、実員78名となる。
- 平成10. 8. 3 安田分遣所配置の日本赤十字社救急車（2B型）更新。
- 平成10. 9.25 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（CD-I 型）1台寄贈を受け本署に配置。
- 平成12. 3.31 職員1名退職、実員77名となる。
- 平成12. 4. 1 定員78名、職員新採用1名、実員78名となる。
- 平成12. 5. 2 五泉市消防本部と「ホテルさきはな」における消防業務について覚書締結。
- 平成13. 3. 8 消防ポンプ自動車（CD-I 型）1台更新、京ヶ瀬分遣所に配置。
- 平成13. 3.31 職員1名退職。実員77名となる。
- 平成13. 4. 1 京ヶ瀬分遣所、新庁舎移転、業務開始。
- 平成14. 9.28 新潟県消防長会主催、新潟県消防職員駆伝大会を当本部管内を会場に実施。優勝は五泉市消防本部。
- 平成15. 8. 9 職員1名死亡退職、実員76名となる。
- 平成16. 3. 防衛施設庁補助事業により水槽付消防ポンプ自動車（水-II 型）1台更新、本署に配置。
- 平成16. 3. 財団法人日本消防協会から指令車1台寄贈を受け本部に

配置。

- 平成16. 3. 31 職員1名退職、実員75名となる。
- 平成16. 4. 1 阿賀野市消防本部となり、定員85名、消防職員75名・事務職員3名(消防団事務担当)、計78名体制となる。
- 平成16. 11. 30 職員1名退職、実員77名となる。
- 平成17. 3. 24m級はしご車1台導入、本署に配置。
- 平成17. 3. 31 職員1名退職、実員76名となる。
- 平成17. 4. 1 定員85名、職員新採用4名、実員80名体制となる。
- 平成17. 8. 4 安田分遣所配置の日本赤十字社救急車(2B型)更新。
- 平成18. 3. 31 職員2名退職、実員78名となる。
- 平成18. 4. 1 定員85名、職員新採用2名、実員80名体制となる。
- 平成19. 3. 31 職員1名退職、実員79名となる。
- 平成19. 4. 1 定員85名、職員新採用2名、実員81名体制となる。
- 平成19. 9. 10 指令車(指令2号車)・広報車(指令3号車)老朽化のため廃車。
- 平成20. 4. 1 定員85名、職員新採用3名、実員84名体制となる。
- 平成20. 7. 29 職員1名退職、実員83名となる。
- 平成20. 10. 28 消防庁消防施設等整備費補助事業・緊急消防援助隊設備整備事業補助により高規格救急車更新・本署に配置。  
前高規格救急車は、安田分遣所に配置。
- 平成21. 3. 10 高規格救急車更新により、旧2B型救急車を朱色全面塗装して広報車(指揮後方支援車)として運用開始。
- 平成21. 3. 31 職員1名退職、実員82名となる。
- 平成21. 4. 1 定員85名、職員新採用3名、実員85名体制となる。
- 平成21. 12. 31 職員1名退職、実員84名となる。
- 平成22. 3. 31 職員4名退職、実員80名となる。
- 平成22. 4. 1 定員85名、職員新採用5名、実員85名体制となる。
- 平成23. 1. 31 職員1名退職、実員84名となる。

- 平成23. 3. 1 防衛施設庁補助事業により、消防ポンプ自動車  
(CD-I型) 1台更新、笹神分遣所に配置。
- 平成23. 3. 31 職員6名退職、実員78名となる。
- 平成23. 4. 1 定員85名、職員新採用5名、実員83名体制となる。
- 平成23. 4. 20 消防救急デジタル無線基本設計(電波伝搬調査等)業務  
委託。
- 平成23. 8. 31 職員1名退職、実員82名となる。
- 平成23. 10. 13 消防緊急通信指令装置更新。
- 平成24. 3. 8 消防救急デジタル無線実施設計業務委託。
- 平成24. 3. 26 緊急消防援助隊設備整備費補助事業により、救助工作車  
(II型)1台更新、京ヶ瀬分遣所に配置。
- 平成24. 3. 31 職員1名退職、事務職員1名異動、実員80名となる。
- 平成24. 4. 1 定員85名、職員新採用2名、実員82名体制となる。
- 平成24. 6. 26 消防機能再編事業基本・実施設計業務委託。
- 平成25. 3. 31 職員5名退職、実員77名となる。
- 平成25. 4. 1 定員85名、職員新採用5名、実員82名体制となる。
- 平成25. 4. 1 消防救急デジタル無線運用開始。
- 平成26. 3. 31 職員6名退職、実員76名となる。
- 平成26. 3. 31 署所再編によって、安田分遣所、笹神分遣所及び京ヶ瀬  
分遣所の3分遣所を廃止。
- 平成26. 4. 1 定員85名、職員新採用6名、実員82名体制となる。
- 平成26. 4. 1 かがやき分署新庁舎業務開始。1本部1署3分遣所から1本  
部1署1分署となり消防本部・消防署54名、かがやき分署  
28名の体制となる。
- 平成26. 4. 1 高規格救急車1台更新、かがやき分署に配置。
- 平成26. 10. 10 職員1名退職、実員81名となる。
- 平成27. 2. 1 消防庁緊急消防援助隊設備整備補助事業により、消防ポ  
ンプ自動車(CD-I型)1台更新、本署に配置。

- 平成27. 2. 総務省所管に属する物品の無償貸与事業により、救助資  
機材搭載型消防ポンプ車1台借受、消防団安田常備分団に  
配置。
- 平成27. 2. 26 防衛省防衛施設周辺民生安定施設整備事業により、高規  
格救急車1台更新、本署に配置。
- 平成27. 3. 31 職員2名退職、実員79名となる。
- 平成27. 4. 1 定員85名、職員新採用5名、実員84名体制となる。
- 平成27. 8. 31 職員1名退職、実員83名となる。
- 平成28. 3. 31 職員4名退職、実員79名となる。



## 4. 阿賀野市構造

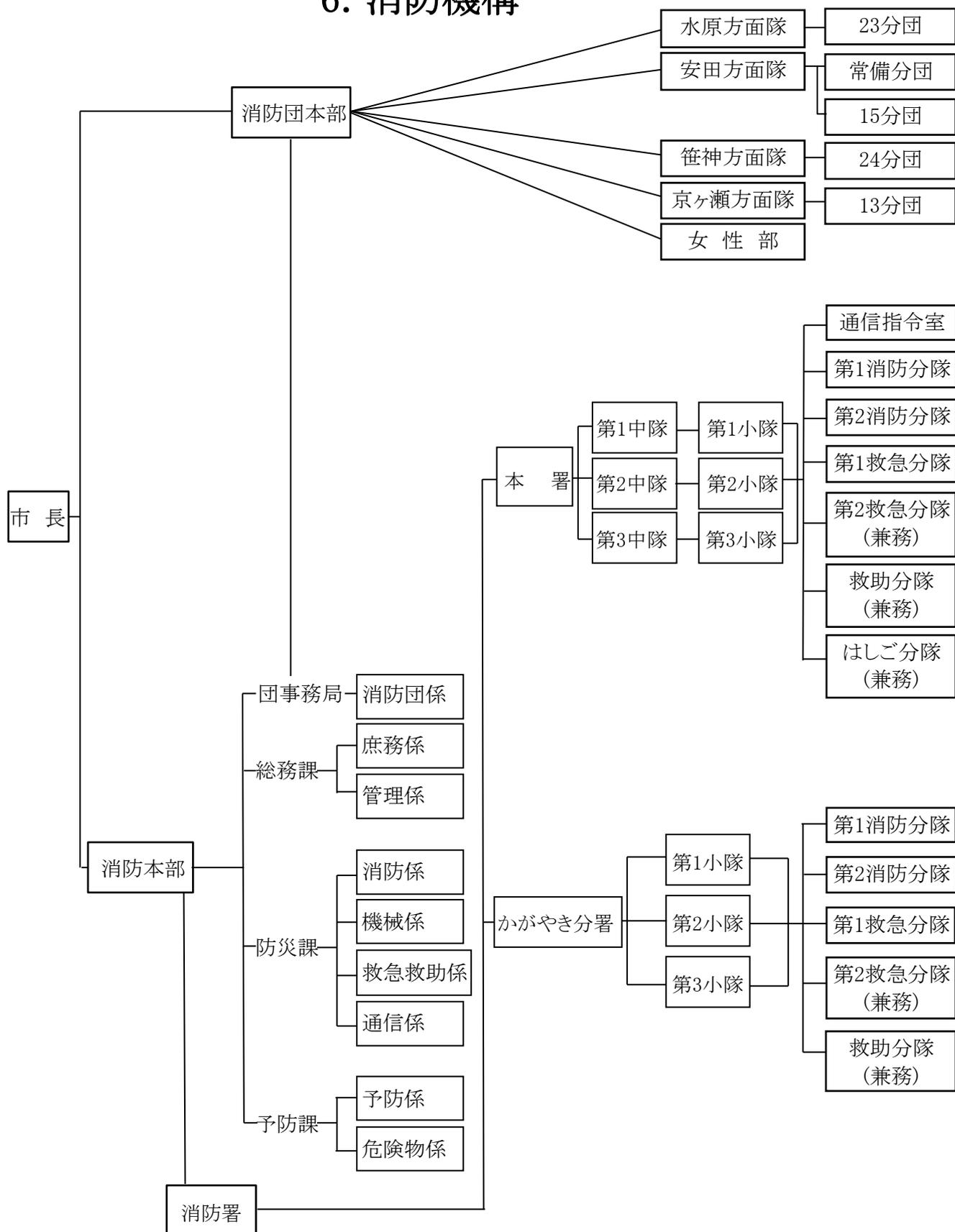
区 分			
面積(27年国調) (km <sup>2</sup> )		192.74	
人口(27年国調) (人)		43,421	
世帯数(27年国調)		13,389	
平成28.3.31現在人口(人)		44,037	
平成28.3.31現在世帯数		14,290	
産 業 構 造	就業人口 人	22,602	
	(22年国調) (%)	(100)	
	第1次産業 人	2,240	
	(%)	(9.9)	
	第2次産業 人	7,638	
	(%)	(33.8)	
	第3次産業 人	12,154	
(%)	(53.8)		
分類不能 人	570		
(%)	(2.5)		
市 街 地 密 集 地 等 状 況	市 街 地		
	1		
	準 市 街 地	人口10,000人未満 5,000人以上	1
		人口5,000人未満4,000人以上	
		人口4,000人未満3,000人以上	
		人口3,000人未満2,000人以上	2
人口2,000人未満1,000人以上		3	

※ 市街地密集地等は、平成28年3月31日現在。

## 5. 消防庁舎現況

名 称 所在地	構 造 建築年月日	面 積 m <sup>2</sup>		
		敷 地	建 築	延 べ
<b>消防本部・署</b> 〒959-2003 阿賀野市安野町 14番4号 TEL 0250-62-2058	鉄筋コンクリート造 一部3階建 昭和58年3月 平成26年3月増改築	5,925.68	1,034.72	1,898.54
<b>かがやき分署</b> 〒959-2206 阿賀野市かがやき 5917番地34 TEL 0250-68-3007	鉄骨造2階建 平成26年3月	3,903.88	786.60	1,498.73

## 6. 消防機構



## 7. 消防予算歳出内訳

(単位：円)

年度別 科目		平成 27 年度		科目		平成 28 年度	
		当初予算額	決算額			当初予算額	前年度比較
9	消防費	755,854,000	750,615,777	9	消防費	934,238,000	178,384,000
1	消防費	755,854,000	750,615,777	1	消防費	934,238,000	178,384,000
1	常備消防費	624,756,000	625,783,165	1	常備消防費	677,085,000	52,329,000
	(2) 給料	295,734,000	295,531,106		(2) 給料	290,892,000	△ 4,842,000
	(3) 職員手当	214,354,000	217,028,616		(3) 職員手当	212,481,000	△ 1,873,000
	(4) 共済費	98,412,000	95,366,039		(4) 共済費	92,118,000	△ 6,294,000
	(8) 報償費	0	0		(8) 報償費	23,000	23,000
	(9) 旅費	442,000	442,040		(9) 旅費	514,000	72,000
	(11) 需用費	12,141,000	13,623,904		(11) 需用費	41,093,000	28,952,000
	(12) 役務費	940,000	933,027		(12) 役務費	975,000	35,000
	(13) 委託料	0	178,092		(13) 委託料	259,000	259,000
	(14) 使用料及び賃借料	5,000	4,860		(14) 使用料及び賃借料	5,000	0
	(16) 原材料費	79,000	77,913		(16) 原材料費	79,000	0
	(18) 備品購入費	589,000	604,557		(18) 備品購入費	35,978,000	35,389,000
	(19) 負担金補助及び交付金	1,813,000	1,741,811		(19) 負担金補助及び交付金	2,210,000	397,000
	(27) 公課費	247,000	251,200		(27) 公課費	458,000	211,000
2	非常備消防費	69,039,000	66,014,526	2	非常備消防費	119,272,000	50,233,000
	(1) 報酬	14,548,000	14,027,079		(1) 報酬	14,548,000	0
	(8) 報償費	50,000	60,700		(8) 報償費	50,000	0
	(9) 旅費	9,105,000	7,472,400		(9) 旅費	9,084,000	△ 21,000
	(10) 交際費	10,000	0		(10) 交際費	10,000	0
	(11) 需用費	7,211,000	7,039,839		(11) 需用費	5,413,000	△ 1,798,000
	(12) 役務費	1,754,000	1,720,033		(12) 役務費	2,056,000	302,000
	(13) 委託料	0	0		(13) 委託料	0	0
	(14) 使用料及び賃借料	210,000	201,736		(14) 使用料及び賃借料	207,000	△ 3,000
	(15) 工事請負費	3,424,000	3,294,000		(15) 工事請負費	3,456,000	32,000
	(18) 備品購入費	12,204,000	11,836,800		(18) 備品購入費	63,494,000	51,290,000
	(19) 負担金補助及び交付金	20,303,000	20,151,539		(19) 負担金補助及び交付金	20,510,000	207,000
	(27) 公課費	220,000	210,400		(27) 公課費	444,000	224,000
3	消防施設費	29,035,000	28,374,784	3	消防施設費	95,199,000	66,164,000
	(9) 旅費	0	0		(9) 旅費	0	0
	(11) 需用費	13,248,000	11,581,339		(11) 需用費	10,397,000	△ 2,851,000
	(12) 役務費	3,063,000	3,027,167		(12) 役務費	3,420,000	357,000
	(13) 委託料	8,481,000	8,572,483		(13) 委託料	8,378,000	△ 103,000
	(14) 使用料及び賃借料	1,323,000	1,283,656		(14) 使用料及び賃借料	1,519,000	196,000
	(15) 工事請負費	0	0		(15) 工事請負費	66,780,000	66,780,000
	(18) 備品購入費	0	0		(18) 備品購入費	56,000	56,000
	(19) 負担金補助及び交付金	2,920,000	3,910,139		(19) 負担金補助及び交付金	4,649,000	1,729,000
	(25) 積立金	0	0		(25) 積立金	0	0
	(27) 公課費	0	0		(27) 公課費	0	0

4	救急業務費	11,121,000	10,595,304
(9)	旅費	407,000	363,220
(11)	需用費	4,520,000	4,544,852
(12)	役務費	611,000	584,660
(13)	委託料	675,000	629,176
(14)	使用料及び賃借料	723,000	720,576
(18)	備品購入費	355,000	331,128
(19)	負担金補助及び交付金	3,763,000	3,355,292
(27)	公課費	67,000	66,400
5	水防費	1,096,000	807,928
(9)	旅費	932,000	657,000
(11)	需用費	140,000	128,318
(12)	役務費	24,000	22,610
6	災害対策費	20,602,000	18,900,773
(1)	報酬	48,000	0
(3)	職員手当	1,000,000	716,212
(4)	共済費	209,000	164,832
(7)	賃金	1,274,000	1,096,200
(8)	報償費	0	0
(11)	需用費	6,765,000	6,867,560
(12)	役務費	561,000	1,662,160
(13)	委託料	1,838,000	712,800
(14)	使用料及び賃借料	1,538,000	1,357,038
(15)	工事請負費	5,468,000	4,437,720
(16)	原材料費	100,000	41,796
(18)	備品購入費	0	550,800
(19)	負担金補助及び交付金	1,801,000	1,293,655
7	山岳遭難救助対策費	205,000	139,297
(9)	旅費	144,000	87,400
(11)	需用費	50,000	48,745
(12)	役務費	11,000	3,152

4	救急業務費	10,153,000	△ 968,000
(9)	旅費	396,000	△ 11,000
(11)	需用費	4,054,000	△ 466,000
(12)	役務費	579,000	△ 32,000
(13)	委託料	816,000	141,000
(14)	使用料及び賃借料	723,000	0
(18)	備品購入費	305,000	△ 50,000
(19)	負担金補助及び交付金	3,205,000	△ 558,000
(27)	公課費	75,000	8,000
5	水防費	1,101,000	5,000
(9)	旅費	938,000	6,000
(11)	需用費	139,000	△ 1,000
(12)	役務費	24,000	0
6	災害対策費	31,227,000	10,625,000
(1)	報酬	48,000	0
(3)	職員手当	1,000,000	0
(4)	共済費	210,000	1,000
(7)	賃金	1,274,000	0
(8)	報償費	100,000	100,000
(11)	需用費	3,334,000	△ 3,431,000
(12)	役務費	680,000	119,000
(13)	委託料	6,107,000	4,269,000
(14)	使用料及び賃借料	1,390,000	△ 148,000
(15)	工事請負費	4,722,000	△ 746,000
(16)	原材料費	100,000	0
(18)	備品購入費	0	0
(19)	負担金補助及び交付金	12,262,000	10,461,000
7	山岳遭難救助対策費	201,000	△ 4,000
(9)	旅費	144,000	0
(11)	需用費	47,000	△ 3,000
(12)	役務費	10,000	△ 1,000

## 8. 消防費と人口・世帯の割合

区分 年度	消防費決算額 (千円)	人口一人当たりの 消防費 (円)	1世帯当たりの 消防費 (円)	消防吏員一人当り の消防費 (千円)
23	1,003,668	21,904	72,331	12,546
24	960,199	21,118	68,244	12,002
25	1,358,190	30,153	96,202	16,977
26	1,380,647	30,970	97,132	17,476
27	750,615	17,045	52,527	9,266

## 9. 消防吏員及びポンプ車の単位当りの 面積・人口・世帯数

区分 年度	面積 km <sup>2</sup>	住基人口及世帯数 (3月31日現在)		ポ ン プ 車	消 防 吏 員	ポンプ車1台当り			消防吏員1人当り		
		人 口	世 帯			面 積 km <sup>2</sup>	人 口	世 帯 数	面 積 km <sup>2</sup>	人 口	世 帯 数
23	192.7	45,882	13,876	7	80	27.53	6,555	1,982	2.41	574	173
24	192.7	45,469	14,070	7	80	27.53	6,496	2,010	2.41	568	176
25	192.7	45,043	14,118	7	80	27.53	6,435	2,017	2.41	563	176
26	192.7	44,579	14,214	7	79	27.53	6,368	2,031	2.44	564	180
27	192.7	44,037	14,290	7	81	27.53	6,291	2,041	2.38	544	176

注:ポンプ車数には、ポンプ付き救助工作車1台とはしご車1台を含む。

注:消防吏員は各年度末数。

## 10. 消防吏員数

### (1) 階級別

平成27年4月1日現在

階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
定員							85
実員	1	11	31	3	3	33	82

(単位 人)

### (2) 勤続年数別

平成27年4月1日現在

階級 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
1年未満						5	5
1年以上2年未満						6	6
2年以上3年未満						4	4
3年以上5年未満						7	7
5年以上10年未満						11	11
10年以上15年未満					3		3
15年以上20年未満			3	2			5
20年以上25年未満			21	1			22
25年以上30年未満		2	7				9
30年以上35年未満		2					2
35年以上40年未満	1	2					3
40年以上		5					5
合計	1	11	31	3	3	33	82

(単位 人)

### (3) 年齢別

平成27年4月1日現在

区分	人員 計	年齢										平均			
		20	21	25	26	30	31	35	36	40	41		45	46	50
人員 (人)	82	6	18	11	1	17	12	6	5	6	36	歳			
構成比 (%)	100	7	22	14	1	21	15	7	6	7					

# 11. 消防吏員特殊技能資格取得状況

(平成27年4月1日現在) (単位 人)

資格区分		階級別		司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計	
		階級	別								
自動車運転免許	一 種	大型免許		1	8	31	3	3	19	65	
		普通免許		1	11	31	3	3	33	82	
		大型特殊免許		1	6	12	1	1	3	24	
		けん引免許				1				1	
		自動二輪免許		1	8	19	3	1	6	38	
		原付免許			5	23	3	2	11	44	
救急救命士					3	12	2		5	22	
救急Ⅰ課程修了者				1	11	5				17	
救急Ⅱ課程修了者				1	11	5				17	
救急標準課程修了者						26	3	3	16	48	
応急手当指導員				1	11	31	3	3	27	76	
JPTECプロバイダー					1	10	3	1	12	27	
MCLSコース修了者					1	8	1			10	
ICLSコース修了者					1	10	1		7	19	
PSLSコース修了者					1	8	1	1	4	15	
消防設備士	甲種	第4類				1				1	
		第5類				1				1	
	乙種	第1類				1					1
		第2類				1					1
		第3類				1					1
		第4類				1	1				2
		第5類				1					1
		第6類				3	6	1	1	1	12
第7類				1	1				2		
危険物取扱者	乙種第1類				1	5	1			7	
	乙種第2類				1	4	1			6	
	乙種第3類				1	6	1		1	9	
	乙種第4類				7	27	3	3	28	68	
	乙種第5類				1	7	1		1	10	
	乙種第6類				1	7	1		1	10	
	丙種				6	4				10	
予防技術資格者	防火査察専門員					5	1		1	7	
	危険物専門員				1	5				6	
	消防用設備等専門員					3				3	
第2級陸上特殊無線技士				1	11	31	2			45	
第3級陸上特殊無線技士							1	3	28	32	
アマチュア無線技士					8	9				17	
アセチレンガス溶接士技能者					4	6	1	1		12	
1級小型船舶操縦者					2	1				3	
2級小型船舶操縦者					2	2				4	
潜水士					3	3	1	1	1	9	
小型移動式クレーン運転技能講習					2	10	2	3	8	25	
玉掛技能					4	14	2	3	10	33	
2級建築士					1					1	
足場の組み立て等作業主任者				1	5	3			1	10	
乙種火薬類取扱保安責任者						1				1	
酸素欠乏危険作業主任者					1	3		1	1	6	
第2種酸素欠乏危険作業主任者						13	2		1	16	
特定化学物質等作業主任者						3				3	

階級別 資格区分	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計
第2級陸上特殊無線技士	1	11	31	2			45
第3級陸上特殊無線技士				1	3	28	32
アマチュア無線技士		8	9				17
アセチレンガス溶接士技能者		4	6	1	1		12
1級小型船舶操縦者		2	1				3
2級小型船舶操縦者		2	2				4
潜水士		3	3	1	1	1	9
小型移動式クレーン運転技能講習		2	10	2	3	8	25
玉掛技能		4	14	2	3	10	33
2級建築士		1					1
足場の組み立て等作業主任者	1	5	3			1	10
乙種火薬類取扱保安責任者			1				1
酸素欠乏危険作業主任者		1	3		1	1	6
第2種酸素欠乏危険作業主任者			13	2		1	16
特定化学物質等作業主任者			3				3

# 防災

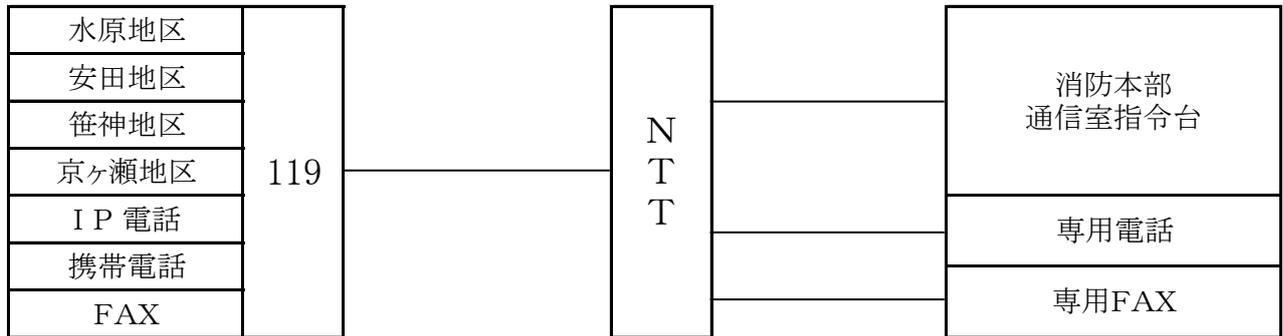


## 【平成 27 年の火災概要】

- 火災発生件数は 9 件で前年より 6 件の減であった。
- 火災種別では、建物火災 5 件、その他火災が 2 件、車両火災 1 件、林野火災 1 件であった。
- 焼損棟数は 8 棟で、全焼 4 棟、部分焼 2 棟、ぼやが 2 棟であった。
- 建物火災の焼損床面積は 804 m<sup>2</sup>、焼損表面積は 18 m<sup>2</sup>であった。
- 損害額は 26,245 千円で、前年比較 6,486 千円の増であった。
- 出火原因はその他が 4 件、こんろが 2 件、ライター、火の粉、不明が各 1 件であった。
- 死者はなし、負傷者が 2 名であった。

## 12. 消防通信系統図

### 119番入電系統図



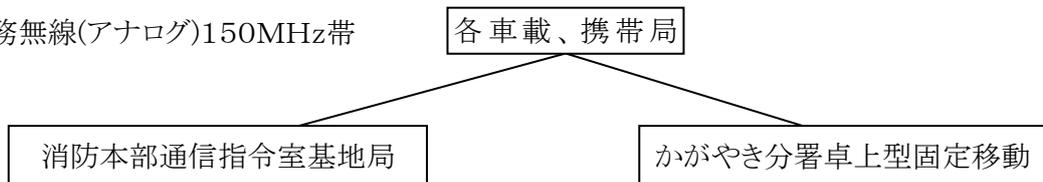
### 指令回線系統図



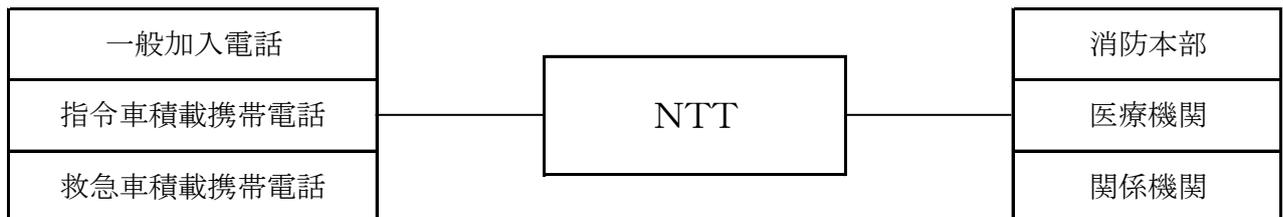
### 無線系統図

消防用業務無線(デジタル)260MHz帯

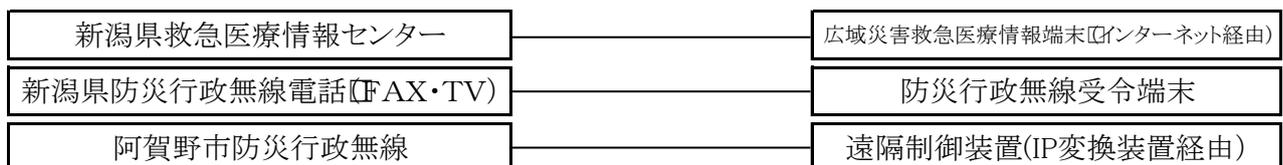
消防用業務無線(アナログ)150MHz帯



### 電話関係



### 情報関係



### 関係機関等連絡系統図





## 14. 無線局の配備状況

区分 識別信号	出力 (W)	種別	配置場所	移動体	備 考
あがのしょうぼうほんぶ	5	基地	阿賀野市消防本部		デジタル方式(アナログ方式併設)
あがのしょうぼう901	10	卓上固定	かがやき分署		デジタル方式
あがのしき 1	10	車載	阿賀野市消防本部	指令車	デジタル方式(アナログ方式併設)
あがのしき 2	10	車載	阿賀野市消防本部	指揮支援車	デジタル方式(アナログ方式併設)
あがのぼんぶ 1	10	車載	阿賀野市消防本部	ポンプ車	デジタル方式(アナログ方式併設)
あがのぼんぶ 5	10	車載	阿賀野市消防本部	ポンプ車	デジタル方式
あがのたんく 1	10	車載	阿賀野市消防本部	タンク車	デジタル方式(アナログ方式併設)
あがのれすきゅー 1	10	車載	阿賀野市消防本部	救助工作車	デジタル方式(アナログ方式併設)
あがのはしご 1	10	車載	阿賀野市消防本部	はしご車	デジタル方式
あがのしょうぼう 15	10	車載	阿賀野市消防本部	広報車	デジタル方式
あがのしょうぼう 16	10	車載	阿賀野市消防本部	人員輸送車	デジタル方式
あがのきゅうきゅう 1	10	車載	阿賀野市消防本部	救急車	デジタル方式(アナログ方式併設)
あがのきゅうきゅう 3	10	車載	阿賀野市消防本部	救急車	デジタル方式(アナログ方式併設)
あがのぼんぶ 2	10	車載	かがやき分署	ポンプ車	デジタル方式(アナログ方式併設)
あがのぼんぶ 3	10	車載	かがやき分署	ポンプ車	デジタル方式(アナログ方式併設)
あがのきゅうきゅう 2	10	車載	かがやき分署	救急車	デジタル方式(アナログ方式併設)
あがのきゅうきゅう 5	10	車載	かがやき分署	救急車	デジタル方式(アナログ方式併設)
あがのたんく 2	10	車載	安田常備分団器具置場	団ポンプ車	デジタル方式
あがのしき 20	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 21	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 22	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 23	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 60	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 61	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 62	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 63	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 65	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのぼんぶ 30	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのぼんぶ 31	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのぼんぶ 34	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのたんく 32	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのたんく 33	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのれすきゅー 40	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのれすきゅー 41	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのはしご 42	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのはしご 43	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式

区分 識別信号	出力 (W)	種別	配置場所	移動体	備考
あがのきゅうきゅう 50	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのきゅうきゅう 52	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしょうぼう 70	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしょうぼう 71	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしょうぼう 72	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしょうぼう 74	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 64	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのぼんぷ 35	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのぼんぷ 36	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのぼんぷ 37	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのぼんぷ 38	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのたんく 39	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのきゅうきゅう 51	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのきゅうきゅう 53	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのしょうぼう 73	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのしょうぼう 9	10	車載	阿賀野市消防本部	団積載車	アナログ方式
あがのしょうぼう 13	10	車載	阿賀野市消防本部	資材搬送車	アナログ方式
あがのしょうぼう 17	10	車載	阿賀野市消防本部	連絡車	アナログ方式
あがのしょうぼう 18	10	車載	阿賀野市消防本部	連絡車	アナログ方式
あがのしょうぼう 19	10	車載	かがやき分署	連絡車	アナログ方式
あがのしょうぼう 100		携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式
あがのしょうぼう 101		携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式
あがのしょうぼう 102		携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式
あがのしょうぼう 103		携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式
あがのしょうぼう 104		携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式
あがのしょうぼう 105		携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式
あがのしょうぼう 106		携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式
あがのしょうぼう 107		携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式
あがのしょうぼう 108		携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式
あがのしょうぼう 109		携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式
あがのしょうぼう 110		携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式
あがのしょうぼう 112		携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式
あがのしょうぼう 113		携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式

# 15. 消防車両一覧

平成28年3月31日現在

所属	無線呼出名称	車種	車名	登録番号	購入年月	ポンプ名 型式	摘要
消防本部・署	あがのぼんぷ1	普通ポンプ車	日野	新潟 800 す 7219	H26.12	モリタ CD-I	CAFS 水600L 緊援隊補助
	あがのたんく1	水槽付ポンプ車	日野	新潟 800 は 575	H16.3	モリタ 水-II	水2,000L 防衛庁補助事業
	あがのぼんぷ5	普通ポンプ車	日野	新潟 800 さ 411	H10.9	野口 CD-I	火災損害保険号
	あがのしき1	指揮車	三菱	新潟 800 さ 7653	H16.3		日本消防協会 より寄贈
	あがのはしご1	梯子付ポンプ車	日野	新潟 800 は 674	H17.3	モリタ ME-5	ポンプ搭載 24M級
	あがのれすきゅう1	救助工作車	日野	新潟 800 は 1327	H24.3	モリタ RII型	ポンプ搭載 緊援隊補助
	あがのきゅうきゅう1	救急車	トヨタ	新潟 800 す 7292	H27.2	高規格	防衛省補助事業
	あがのきゅうきゅう3	救急車	トヨタ	新潟 800 す 2319	H20.10	高規格	緊援隊補助
	あがのしょうぼう16	人員輸送車	トヨタ	新潟 57 も 7413	H5.5		1BOXワゴン
	あがのしょうぼう13	資材搬送車	三菱	新潟 45 せ 6520	H10.3		トラック型
	あがのしき2	指揮支援車	トヨタ	新潟 800 さ 267	H10.7		
	あがのしょうぼう15	連絡車	トヨタ	新潟 400 と 760	H23.10		普通ライトバン
	あがのしょうぼう17	連絡車	スバル	新潟 41 さ 2837	H14.4		
	あがのしょうぼう18	連絡車	スバル	新潟 41 す 4947	H15.4		
かがやき分署	あがのぼんぷ2	普通ポンプ車	いすゞ	新潟 800 さ 3825	H13.3	モリタ CD-I	可搬ポンプ積載
	あがのぼんぷ3	普通ポンプ車	日野	新潟 800 す 4200	H23.2	モリタ CD-I	CAFS 水600L 防衛省補助事業
	あがのきゅうきゅう5	救急車	トヨタ	新潟 800 す 6664	H26.3	高規格	
	あがのきゅうきゅう2	救急車	トヨタ	新潟 800 さ 9132	H17.7	2B	
	あがのしょうぼう19	連絡車	ダイハツ	新潟 41 こ 1305	H13.5		

## 16. 特殊機器等保有状況

区分	品名	数量	備考
救急	自動心臓マッサージ器	3	コムスタッド、ルーカス×2
	陰圧式固定用具	8セット	全身用×4、部分用×4
	加湿酸素吸入装置	4	
	人工呼吸器	3	オキシログ、アンサー×2
	ショックパンプ	3	
	吸引器	4	電池式
	パルスオキシメーター	5	
	電子体温計	8	即時用×4、低体温測定用×4
	電子血圧計	4	
	手動式人工呼吸器	7	
	心肺蘇生用背板	3	
	レスキューセット	3	
	スクープストレッチャー	4	
	喉頭鏡	4	マギール鉗子付
救命	エアウェイ	複数	気管挿管、LT、LM、経鼻、経口
	救命浮輪	2	
	救急車内消毒器	3	
	ベッドサイドモニター	4	観察用
	除細動器	5	日本光電・ルールダル 単相性1・二相性4
	AED	2	日本光電 二相性2
	携帯電話	4	NTTドコモ(デジタル)
	耐電手袋	1	
	リトルアン(4体セット)	6	
	レコーディングレサシジュニア	1	(訓練用人形)ルールダル
機器	レコーディングレサシベビー	2	(訓練用人形)ルールダル、ヤガミ
	気道確保トレーナー	1	ルールダル
	I.V.トレーナー	2	(腕用)ルールダル
	酸素ボンベ	22	2L
	〃	15	10L
	多数傷病者用救急セット	1	20人用
	トリアージシート(4色)	複数	
	点滴用スタンド	4	
	オキシクリップ	5	
	ハイテクバックボード一式	5	
器材	全自動高圧蒸気滅菌装置	2	
	エアウェイスコープ	1	
	静脈可視化装置	1	StatVein
	血糖測定器	4	
	防刃ベスト	6	
	AEDトレーナー	16	日本光電×8、フィリップス×8

区分	品名	数量	備考
一般救助器具	かぎ付はしご	2	
	三連梯子	6	
	金属製折りたたみ梯子又はワイヤ梯子	1	
	空気式救助マット	1	ソフトランディングエアマット
	救命索発射銃	2	M-300型、M3
	サバイバースリング又は救助用縛帯	8	ピタゴール等
	平担架	1	バックボード
	カラビナ	70	スーパー12含む
重量物排除用	滑車	5	
	油圧スプレッダー	2	オグラマルチ
	可搬ウインチ	1	TU-16
	ワイヤロープ	8	
切断用器具	マンホール救助器具	1	
	油圧切断機	2	オグラマルチ
	エンジンカッター	1	スチール
	ガス溶断機	1	ペトロカッター
	チェーンソー	1	スチール
破壊用材料機	鉄線カッター	6	
	万能斧	17	弁慶、斧、ツルハシ
	ハンマー	6	ボンコツ、掛矢
検知・測定	携帯用コンクリート破壊器具	1	ストライカー
	可燃性ガス測定器	1	GX-2003
	有毒ガス測定器	1	GX-2003
用器護	酸素濃度測定器	1	GX-2003
	空気呼吸器(予備ボンベ含む)	40	
隊員用保護用具	空気補充用ボンベ	77	
	革手袋	5	
	耐電手袋	6	
	耐電用具一式	6	耐電衣、耐電ズボン、耐電長靴
	安全帯	5	
	防塵メガネ	5	
	防毒マスク	5	S-CAP2、サカキ式3
携帯警報器	5	レスキューコール	
水難救助用具	流水救助器具一式	5	
	救命胴衣	13	ライフジャケット、PFD5
	救命浮環	3	
	救命ボート	3	アキレスゴムボート、アルミボート
山岳	船外機	1	トーハツ:20馬力
	登山器具一式	9	
	バスケット担架	3	

区分	品名	数量	備考
その他救助用器具	投光器一式	8	
	携帯投光器	24	ポーターライト7
	携帯拡声器	9	
	携帯無線機	33	各車両
	応急処置用セット	6	
	車両移動器具	4	ゴージャッキ
重量物	発電機	7	
	マット型空気ジャッキ一式	1	ホルマトロ
切断用	大型油圧スプレッダー	1	ホルマトロ
	空気鋸	1	
	大型油圧切断機	1	ホルマトロ
破壊	空気切断機	1	
	削岩機	1	
呼吸	ハンマドリル	1	
	防塵マスク	9	カムホエリート3
	送排風機	1	

## 17. 消防水利の状況

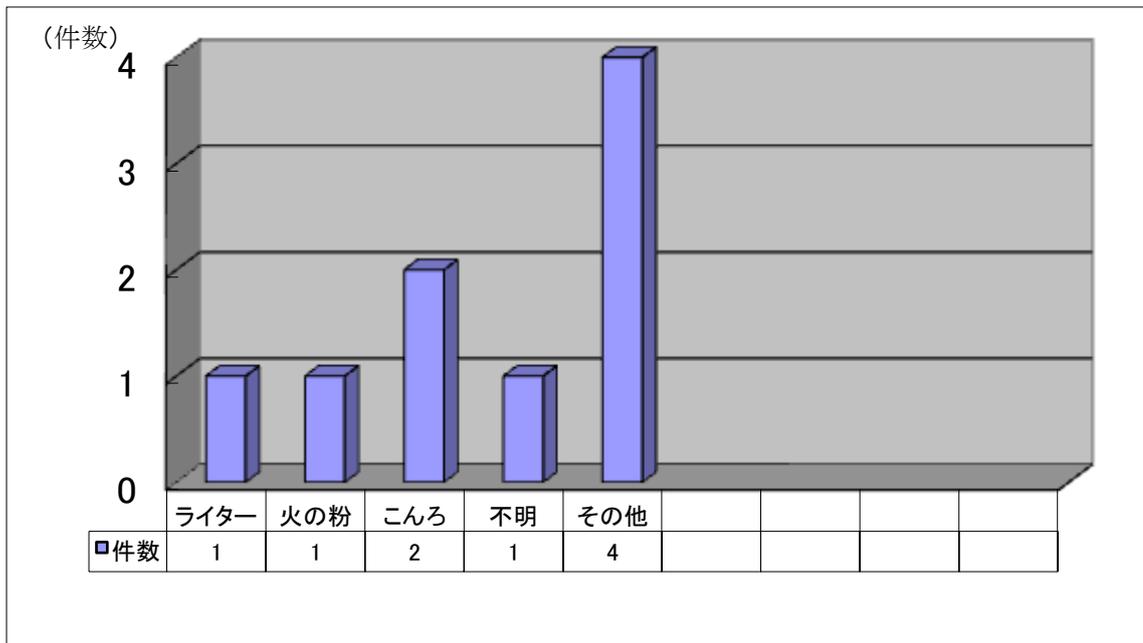
区分 地区別	消火栓		防火水槽		防火井戸		その他	
	基準	基準以下	基準	基準以下	基準	基準以下	基準	基準以下
水原地区	134	318	16	2	1	34	14	
安田地区	166	201	53	5			9	
笹神地区	108	216	15	7			5	
京ヶ瀬地区	92	200	5	7		32	4	
合計	500	935	89	21	1	66	32	

# 18. 火災統計

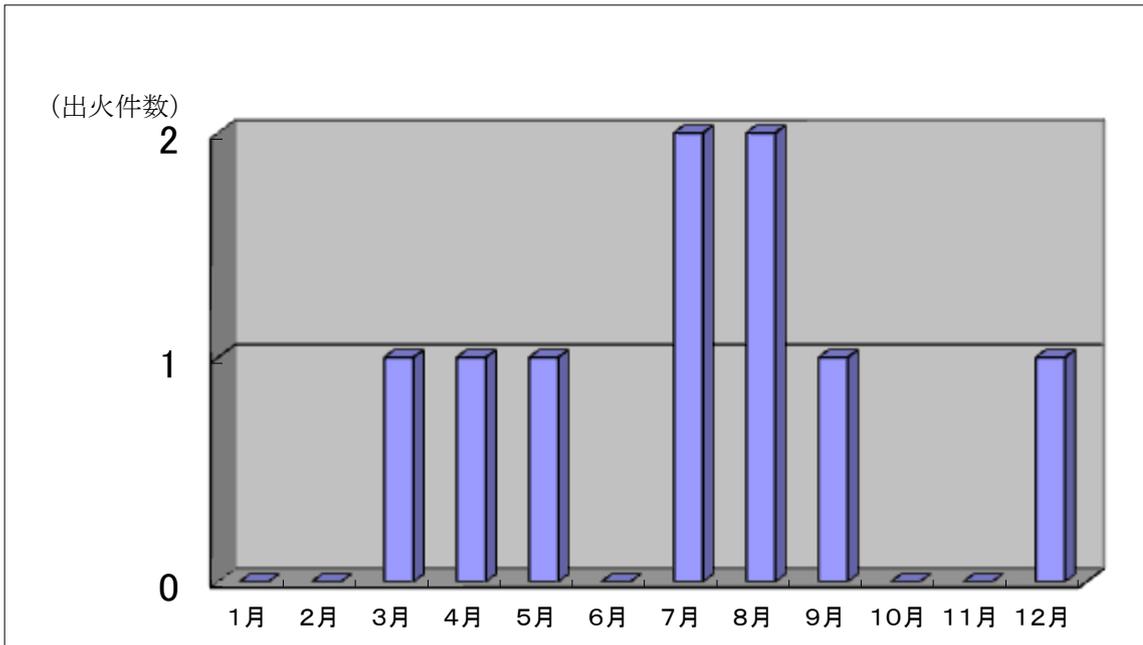
## (1) 出火件数

区分	出火件数	死者数	負傷者数	損害額(千円)
全国(概数)	39,046	1,551	6,267	114,784,530
新潟県	578	31	108	2,037,700
阿賀野市	9	0	2	26,245

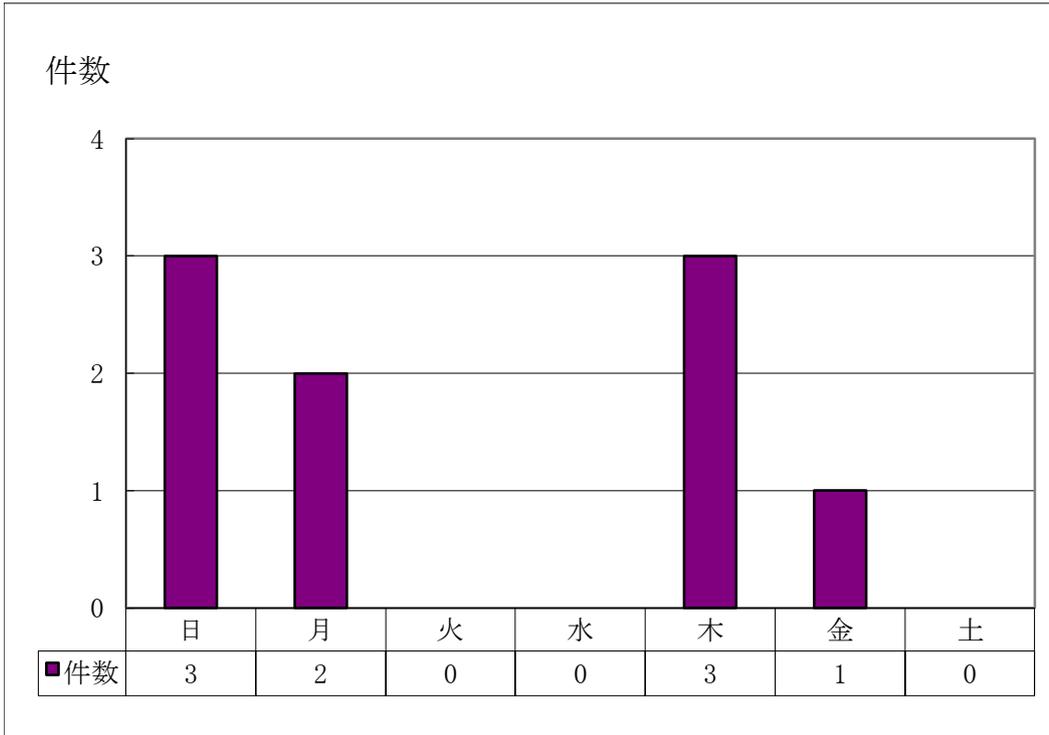
## (2) 原因別出火状況



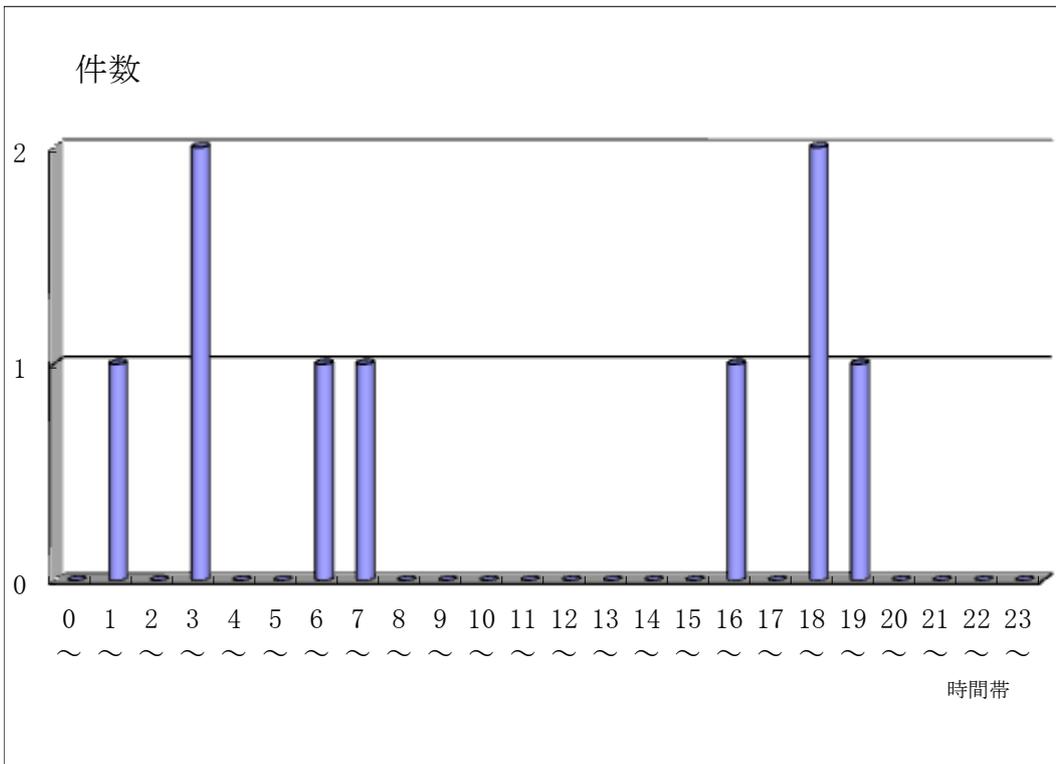
## (3) 月別出火状況



(4) 曜日別出火状況

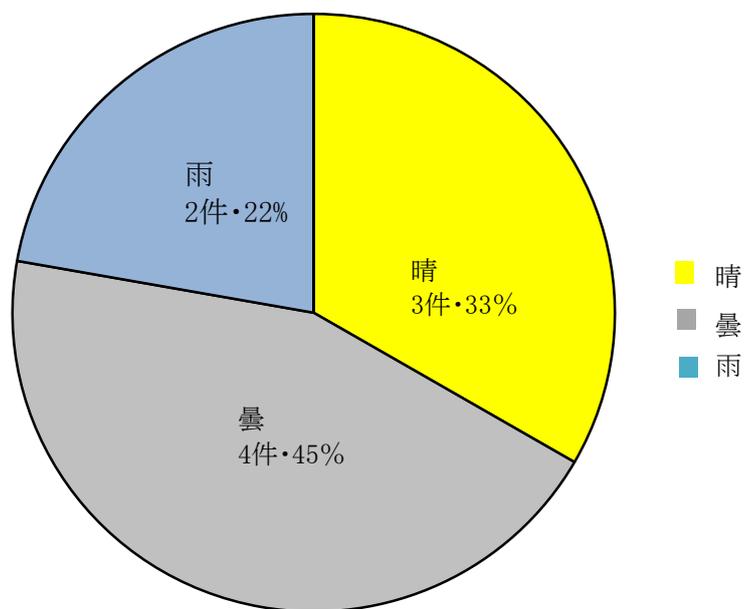


(5) 時間帯別出火状況

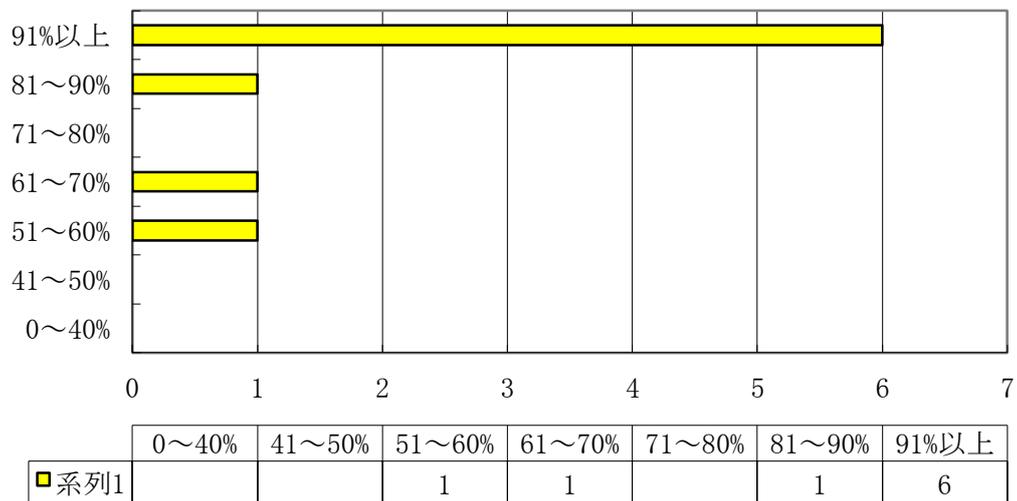


(6) 気象別出火状況

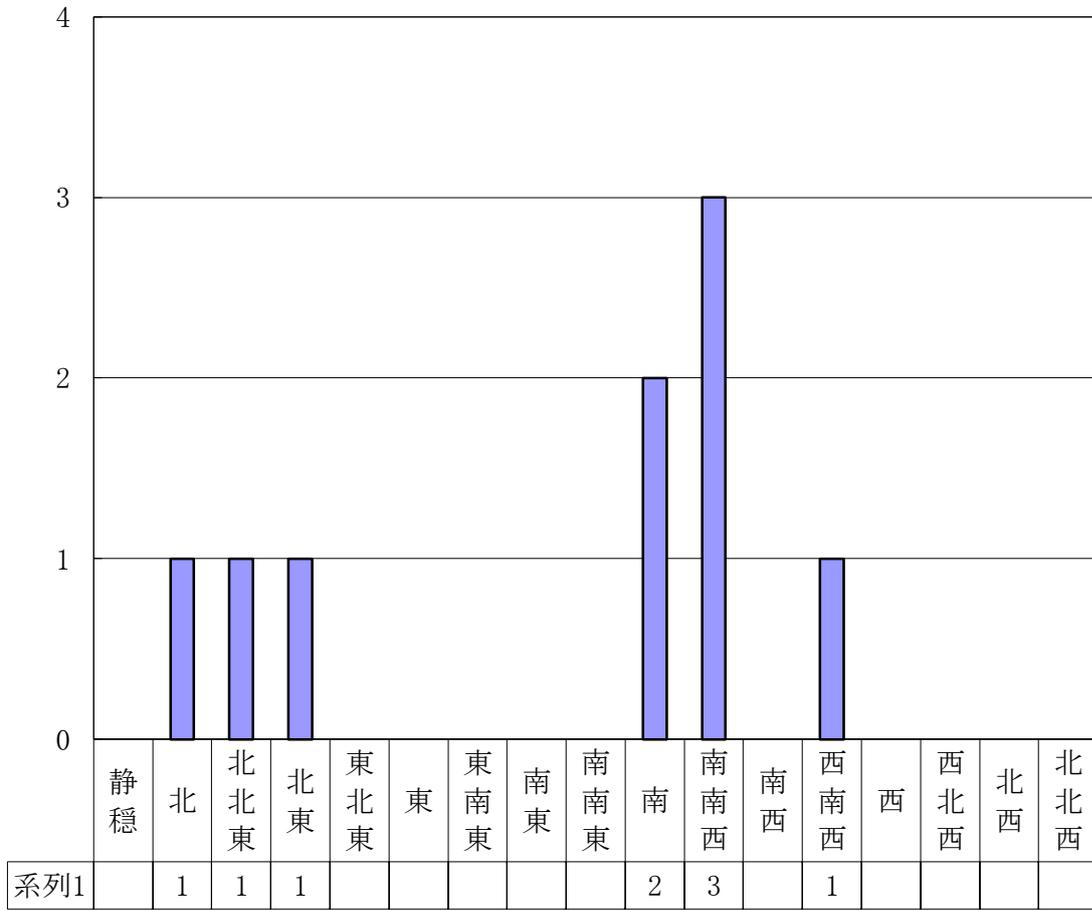
天 候



湿 度(相対)



風 向



(7) 平成27年火災記録明細表

発生番号	火災種別	出火月日	出火時刻	出火地区	出火原因	焼損面積 (㎡)	焼損棟数				死者数		損害額 (千円)
							全焼	半焼	部分焼	ぼや	死者	負傷者	
1	その他	3月22日	19:04	安田	その他								48
2	その他	4月26日	7:25	笹神	ライター								6
3	林野	5月3日	16:04	笹神	火の粉	1a							59
4	建物	7月23日	18:48	笹神	こんろ				1		1		1
5	建物	7月30日	3:03	水原	その他	13			1				534
6	建物	8月3日	18:10	水原	こんろ				1		1		
7	車両	8月13日	6:56	安田	その他	1台							126
8	建物	9月11日	1:50	水原	不明	791	1(3)						22,951
9	建物	12月7日	0:53	安田	その他	(18)			1				2,520
計	建物 5件 林野 1件 車両 1件 その他 2件			水原 3	焼損面積	804 ㎡	1(3)	0	2	2	0	2	26,245
				安田 3	焼損表面積	18 ㎡							
				笹神 3	林野	1 a							
				京ヶ瀬 0	車両	1 台							
					その他	0 ㎡							

( )内は焼損表面積 棟数( )内は非住宅

(8) 月別火災発生状況

種別 月別	火災件数					焼損棟数					り災世帯数				死傷者数			
	計	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	り災人員	計	死者	負傷者
1																		
2																		
3	1				1													
4	1				1													
5	1		1															
6																		
7	2	2				2			1	1	4			4	12	1		1
8	2	1		1		1				1	1			1	1	1		1
9	1	1				4	4				1	1			2			
10																		
11																		
12	1	1				1			1									
計	9	5	1	1	2	8	4		2	2	6	1		5	15	2		2

26年	15	11	1	1	2	19	2	2	8	7	14	3	1	10	48	3	1	2
27年	9	5	1	1	2	8	4		2	2	6	1		5	15	2		2
増減	△ 6	△ 6				△ 11	2	△ 2	△ 6	△ 5	△ 8	△ 2	△ 1	△ 5	△ 33	△ 1	△ 1	

種別 月別	焼損面積		損害額(千円)					
	建 物 (㎡)	林 野 その他	建 物		林 野	車 両	そ の 他	合 計
			建 物	収 容 物				
1								
2								
3							48	48
4							6	6
5		1a			59			59
6								
7	13		177	358				535
8		1台				126		126
9	791		20,695	2,256				22,951
10								
11								
12	(18)		97	2,423				2,520
計	804 (18)	1a 1台	20,969	5,037	59	126	54	26,245

( )内は焼損表面積

26年	741	339	17,000	15,309	3,759	586	37	68	19,759
27年	804	18	1a 1台	20,969	5,037	59	126	54	26,245
増減	63	△321		5,660	1,278	△ 527	89	△ 14	6,486

(9) 平成27年地区別火災記録明細表

項目		地区				合計
		水原地区	安田地区	笹神地区	京ヶ瀬地区	
出火種別	建 物	3	1	1		5
	林 野			1		1
	車 両		1			1
	そ の 他		1	1		2
	計	3	3	3		9
焼損棟数	全 焼	4				4
	半 焼					
	部 分 焼	1	1			2
	ぼ や	1		1		2
	計	6	1	1		8
焼損面積	※1 建 物 (㎡)	804	(18)			804 (18)
	林 野 (a)			1		1
	車 両 (台)		1			1
	その他(㎡)					
損 害 額 (千円)	建 物	建 物	20,871	97	1	20,969
		収 容 物	2,614	2,423		5,037
	林 野			59		59
	車 両		126			126
	そ の 他		48	6		54
	計	23,485	2,694	66		26,245
り 災 世 帯		5		1		6
り 災 人 員		10		5		15
死 者						
負 傷 者		1		1		2
※3	出 動 台 数	12(7)	13(7)	8(3)		33(17)
※3	放 水 台 数	8(5)	8	3		19(5)
吏 員 出 動 数		57	61	27		145
団 員 出 動 数		63	52	18		133
※2	出 火 率	2.0				

※1 ( )は、焼損表面積

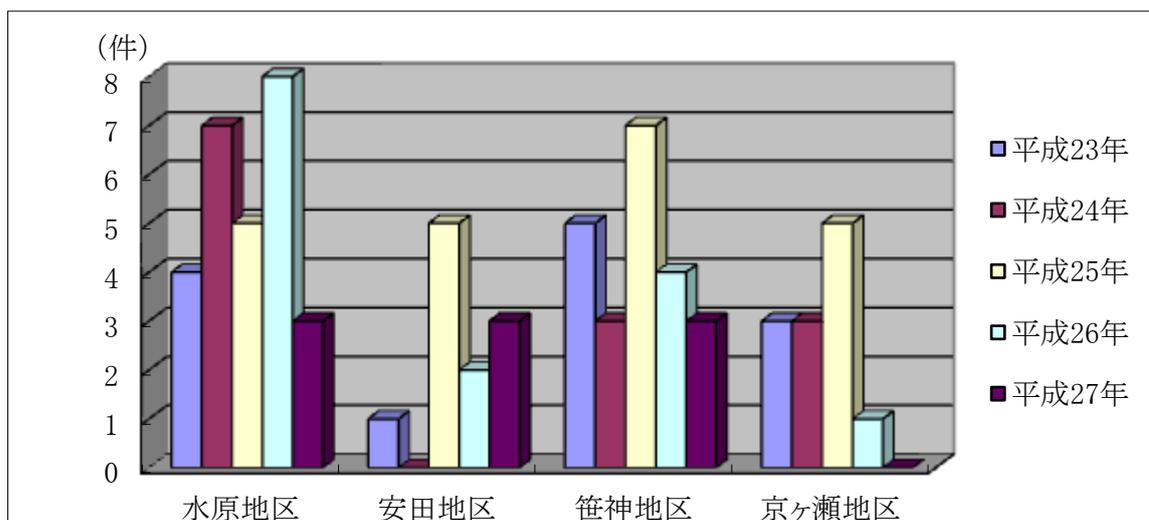
※2 出火率 人口1万人当たりの出火件数

※3 ( )は、消防団の車両

笹神地区、林野火災に新潟県防災ヘリを要請。

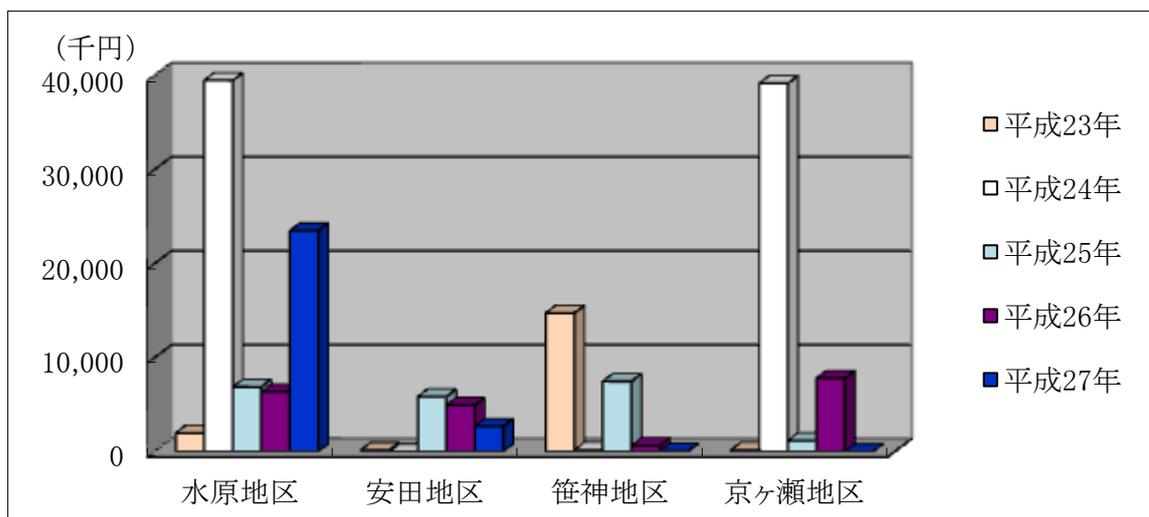
## (10) 火災状況(5年間)

### 火災発生件数



	水原地区	安田地区	笹神地区	京ヶ瀬地区	計 (件)
平成23年	4	1	5	3	13
平成24年	7	0	3	3	13
平成25年	5	5	7	5	22
平成26年	8	2	4	1	15
平成27年	3	3	3	0	9
計	27	11	22	12	72

### 損害額



	水原地区	安田地区	笹神地区	京ヶ瀬地区	計 (千円)
平成23年	1,980	161	14,733	168	17,042
平成24年	39,468	0	178	39,160	78,806
平成25年	6,885	5,853	7,472	1,195	21,405
平成26年	6,359	4,953	651	7,796	19,759
平成27年	23,485	2,694	66	0	26,245
計	78,177	13,661	23,100	48,319	163,257

## (11) 月別火災件数(5年間)

地区別	月別													
	年別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
水原地区	平成23年		1					1		2				4
	平成24年					2			1	3			1	7
	平成25年		2				1		1		1			5
	平成26年			1	1	1	2	2					1	8
	平成27年							1	1	1				3
安田地区	平成23年									1				1
	平成24年													0
	平成25年		1			2		1		1				5
	平成26年				1						1			2
	平成27年			1					1				1	3
笹神地区	平成23年			1			1		1				2	5
	平成24年						3							3
	平成25年		1	1			1	2		1	1			7
	平成26年				2		1			1				4
	平成27年				1	1		1						3
京ヶ瀬地区	平成23年	1								2				3
	平成24年							1	1	1				3
	平成25年			2		1					1		1	5
	平成26年									1				1
	平成27年													
合計		1	5	6	5	7	9	9	6	14	4	0	6	72

# 予防



## 【平成 27 年の概況】

- 危険物施設について  
平成 28 年 3 月 31 日現在の施設数は、285 施設で前年度比較 9 施設の減であった。
- 危険物施設の立入検査について  
年間計画に基づき危険物施設 285 について、延べ 263 回の立入検査を実施した。  
また、危険物安全管理週間中に、安全協会役員と合同で施設の安全管理に関する意識の向上と災害防止を図るため、特別立入検査を実施した。
- 防火対象物の立入検査について  
延べ面積 150 m<sup>2</sup>以上の防火対象物の総数 1,623 のうち年間計画に基づき消防用設備義務設置の対象物 1,399 について、延べ 751 回の立入検査を実施した。
- 確認申請の受理件数  
前年度 80 件に対し、今年度 119 件で、前年度比較 39 件の増となった。令別表第 1 用途別に見ると、前年度 39 件に対し今年度は 49 件で 10 件の増となった。  
住宅については、前年度 8 件に対し今年度は 15 件で 7 件の増となった。  
都市計画区域内(準防火地域を除く)で、一般住宅の消防同意は、通知書に改められている。

## 19. 危険物

### (1) 製造所等の施設状況

平成28年3月31日現在

地区別	製造所等の別 合計	製造所	貯蔵所							取扱所					
			小計	屋内 貯蔵所	屋外 タンク 貯蔵所	屋内 タンク 貯蔵所	地下 タンク 貯蔵所	簡易 タンク 貯蔵所	移動 タンク 貯蔵所	屋外 貯蔵所	小計	給油 取扱所	販売 取扱所	移送 取扱所	一般 取扱所
総計	285		173	20	24	1	70	1	55	2	112	47			65
本署管内	122		70	8	8		30		22	2	52	19			33
分署管内	163		103	12	16	1	40	1	33		60	28			32

### (2) 製造所等の年度別施設状況

平成28年3月31日現在

年度別	製造所等の別 合計	製造所	貯蔵所							取扱所					
			小計	屋内 貯蔵所	屋外 タンク 貯蔵所	屋内 タンク 貯蔵所	地下 タンク 貯蔵所	簡易 タンク 貯蔵所	移動 タンク 貯蔵所	屋外 貯蔵所	小計	給油 取扱所	販売 取扱所	移送 取扱所	一般 取扱所
平成23年度	302		183	20	24	1	81	1	54	2	119	52 (24)			67
平成24年度	299		181	20	22	1	81	1	54	2	118	50 (22)			68
平成25年度	296		180	20	22	1	78	1	56	2	116	49 (22)			67
平成26年度	294		179	20	23	1	74	1	58	2	115	48 (22)			67
平成27年度	285		173	20	24	1	70	1	55	2	112	47 (22)			65
前年度 比較増減	△9		△6		1		△4		△3		△3	△1 ( )			△2

( ) は、自家用給油取扱所

(3) 製造所等の許可・完成検査・廃止等の状況

平成28年3月31日現在

種別	製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所					
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
総件数		69		28	3	5		9		11		41	15			26
許可	設置	7		3		1		1		1		4				4
	変更	25		10	3	2		1		4		15	7			8
完成検査	設置	6		3		1		1		1		3				3
	変更	19		5		1		1		3		14	7			7
仮使用承認																
廃止届		12		7				5		2		5	1			4

(4) 類別・製造所等の状況

平成28年3月31日現在

類別	製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所					
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
総計		285		173	20	24	1	70	1	55	2	112	47			65
第1類																
第2類																
第3類																
第4類		284		173	20	24	1	70	1	55	2	111	47			64
第5類		1										1				1
第6類																

(5) 数量別・製造所等の状況

平成28年3月31日現在

数量別 製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所					
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
計	285		173	20	24	1	70	1	55	2	112	47			65
5倍以下	134		101	4	6	1	35	1	54		33	4			29
5倍を越え 10倍以下	54		26	4	8		13			1	28	6			22
10倍を越え 50倍以下	63		39	9	10		19			1	24	14			10
50倍を越え 100倍以下	10		3				2		1		7	7			
100倍を越え 150倍以下	6		2	2							4	4			
150倍を越え 200倍以下	8		1				1				7	7			
200倍を越え 1000倍以下	10		1	1							9	5			4
1000倍を越え 5000倍以下															

(6) 危険物施設立入検査の状況

平成28年3月31日現在

地区別 製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所					
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
総計	263		159	18	20	1	67	1	50	2	104	44			60
本署管内	118		69	8	8		30		21	2	49	18			31
分署管内	145		90	10	12	1	37	1	29		55	26			29

## 20. 防火対象物

(1) 150㎡以上の防火対象物の状況(棟別) (その1)

平成28年3月31日現在

防火対象物の区分		消防用設備の区分		1		2		3		4		5		6			
				イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	イ			
														1	2	3	4
		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	1	2	3	4		
		劇場、映画館、演芸場又は観覧場	公会堂又は集会場	キャバレー、カフェ、ナイトクラブその他これらに類するもの	遊技場又はダンスホール	性風俗関連特殊営業を営む店舗	カラオケボックス等	待合、料理店その他これらに類するもの	飲食店	百貨店、マーケット、その他物品販売業を営む店舗又は展示場	旅館、ホテル又は宿泊所その他これらに類するもの	寄宿舎、下宿又は共同住宅	診療科目中に特定診療科目名の一般病床を有する病院	診療科目中に特定診療科目名の一般病床を有し四人以上の患者を入院させるための施設	患者を入院させるための施設を有する診療所又は助産所	患者を入院させるための施設を有しない診療所又は助産所	
A, 防火対象物総数		2	19		6		2	18	17	63	36	124	20				
B, Aのうち消防用設備を設置しなければならない防火対象物数	計	2	19		5		2	18	17	63	36	124	20				
	管轄別	本署	1	11		2		1	15	5	45	1	72	16			
		かがやき分署	1	8		3		1	3	12	18	35	52	4			
C, Aのうち消防用設備を要しない防火対象物数	計				1												
	管轄別	本署															
		かがやき分署				1											
D, Aのうち3階以上の防火対象物数	計	2						3			6	16	1				
	管轄別	本署	2					3				9	1				
		かがやき分署									6	7					

(1) 150㎡以上の防火対象物の状況(棟別) (その2)

防火対象物の区分		6										
		ロ					ハ					ニ
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
消防用設備の区分		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
		養護老人ホーム	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別 救護施設	乳児院	障害児入所施設	障害者支援施設	老人デイサービスセンター、老人福祉セン ター、老人介護支援センター	更生施設	園、児童養護施設、児童自立支援施設	児童発達支援センター	身体障害者福祉センター、障害者支援施 設、地域活動支援センター	幼稚園又は特別支援学校
A, 防火対象物総数		16				1	12		20		8	5
B, Aのうち消防用設備を 設置しなければならない防火対象物数	計	16				1	12		20		8	5
	管轄別 本署	9					8		12		4	4
	かがやき分署	7				1	4		8		4	1
C, Aのうち消防用設備を 要しない防火対象物数	計											
	管轄別 本署											
	かがやき分署											
D, Aのうち3階以上の 防火対象物数	計	7					1				1	1
	管轄別 本署	4					1					1
	かがやき分署	3									1	

(1) 150㎡以上の防火対象物の状況(棟別) (その3)

防火対象物の区分	7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		合計	
			イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ		
			小、中、高、大学校等各種学校の類	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの			公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	車両の停車場の類	神社、寺院、教会その他これらに類するもの			工場又は作業場	映画スタジオ又はテレビスタジオ		自動車車庫又は駐車場
A, 防火対象物総数	37	5		3	2	54	348		16		224	364	133	68	1623	
B, Aのうち消防用設備を設置しなければならない防火対象物数	計	31	5		3	2	49	348		16		224	265	49	39	1399
	管轄別 本署	20	3			1	32	177		11		105	62	22	10	649
	管轄別 かがやき分署	11	2		3	1	17	171		5		119	203	27	29	750
C, Aのうち消防用設備を要しない防火対象物数	計	6				5						99	84	29	224	
	管轄別 本署	6				2						70	84	29	191	
	管轄別 かがやき分署					3						29			33	
D, Aのうち3階以上の防火対象物数	計	16					8				3	22	11	3	101	
	管轄別 本署	12					4				3	16	6	2	64	
	管轄別 かがやき分署	4					4					6	5	1	37	

(2) 防火管理者・消防計画届出・防火対象物数の状況(その1)

平成28年3月31日現在

防火対象物の区分	1		2				3		4	5		6					
	イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ					
	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	公会堂又は集会場	らに類するもの	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これ	遊技場又はダンスホール	性風俗関連特殊営業を営む店舗	カラオケボックス等	待合、料理店その他これらに類するもの	飲食店	舗又は展示場	百貨店、マーケット、その他物品販売業を営む店	旅館、ホテル又は宿泊所その他これらに類するもの	寄宿舎、下宿又は共同住宅	1 診療科目中に特定診療科目名の一般病床を有する病院	2 診療科目中に特定診療科目名の一般病床を有し 四人以上の患者を入院させるための施設	3 患者を入院させるための施設を有する診療所又は助産所	4 患者を入院させるための施設を有しない診療所又は助産所
法第8条適用 防火対象物数	計		1	15		4		1	16	14	38	24	2	2			
	管轄別	本署		4		2		2	7	8	21			1			
		かがやき分署	1	11		2		1	14	7	30	3	2	1			
防火管理者を選任し届 出ている防火対象物数	計		1	15		3		1	16	14	37	24	2	2			
	管轄別	本署		4		1		2	7	8	21			1			
		かがやき分署	1	11		2		1	14	7	29	3	2	1			
消防計画を作成し届出 ている防火対象物数	計		1	15		3		1	16	13	37	24	2	2			
	管轄別	本署		4		1		2	7	8	21			1			
		かがやき分署	1	11		2		1	14	6	29	3	2	1			

(2) 防火管理者・消防計画届出・防火対象物数の状況(その2)

防火対象物の区分		6										
		ロ					ハ					ニ
		1 老人ホーム	2 老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護救護施設	3 乳児院	4 障害児入所施設	5 障害者支援施設	1 老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人介護支援センター	2 更生施設	3 児童養護施設、児童自立支援施設	4 助産施設、保育所、幼保連携型認定こども園、児童発達支援センター	5 身体障害者福祉センター、障害者支援施設、地域活動支援センター	幼稚園又は特別支援学校
消防用設備の区分	計	13				1	8		16		1	4
	管轄別	本署	5				1	2		5		1
		かがやき分署	8					6		11		1
防火管理者を選任し届出ている防火対象物数	計	13				1	8		16		1	4
	管轄別	本署	5				1	2		5		1
		かがやき分署	8					6		11		1
消防計画を作成し届出ている防火対象物数	計	13				1	8		16		1	4
	管轄別	本署	5				1	2		5		1
		かがやき分署	8					6		11		1

(2) 防火管理者・消防計画届出・防火対象物数の状況 (その3)

防火対象物の区分	7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		合計	選任率 (%)	
			イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ			
			小、中、高、大学校等各種学校の類	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの			公共浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類	イに掲げる公共浴場以外の公共浴場	車両の駐車場の類	神社、寺院、教会その他これらに類するもの			工場又は作業場	映画スタジオ又はテレビスタジオ			自動車車庫又は駐車場
消防用設備の区分	計	16	3		1	34	21					35	27	4	301		
	管轄別	本署	5	2		1	13	8					10	13	2	113	
		かがやき分署	11	1			21	13					25	14	2	188	
防火管理者を選任し届出ている防火対象物数	計	16	3		1	31	21					32	26	4	292	97.0%	
	管轄別	本署	5	2		1	13	8					10	13	2	112	99.1%
		かがやき分署	11	1			18	13					22	13	2	180	95.7%
消防計画を作成し届出ている防火対象物数	計	16	3		1	31	21					32	25	4	290	96.3%	
	管轄別	本署	5	2		1	13	8					10	13	2	112	99.1%
		かがやき分署	11	1			18	13					22	12	2	178	94.7%

## (3) 防火対象物立入検査の状況

平成28年3月31日現在

別表第1区分		管轄別	防火 対象物	立入検査回数			
				合計	本署	分署	
合		計	1,623	751	406	345	
1	イ	劇場、映画館、演劇場又は観覧場	2	2	1	1	
	ロ	公会堂又は集会場	19	19	11	8	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ その他これらに類するもの					
	ロ	遊技場又はダンスホール	6	5	2	3	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗					
	ニ	カラオケボックス等	2	2	1	1	
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	18	17	14	3	
	ロ	飲食店	17	15	5	10	
4		百貨店、マーケットその他の物品販売 業を営む店舗又は展示場	63	49	36	13	
5	イ	旅館、ホテル又は宿泊所その他これら に類するもの	36	36	1	35	
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	124	35	25	10	
6	イ	1	診療科目中に特定診療科目名の一般病 床を有する病院	20	11	8	3
		2	診療科目中に特定診療科目名の一般病床を 有し4人以上の患者を入院させるための施 患者を入院させるための施設を有する 診療所又は助産所				
		3	患者を入院させるための施設を有する 診療所又は助産所				
		4	患者を入院させるための施設を有しな い診療所又は助産所				
	ロ	1	老人短期入所施設、養護老人ホーム、 特別養護老人ホーム	16	16	9	7
		2	救護施設				
		3	乳児院				
		4	障害児入所施設				
		5	障害者支援施設	1	1		1
	ハ	1	老人デイサービスセンター、老人福祉 センター、老人介護支援センター	12	12	8	4
		2	更生施設				
		3	助産施設、保育所、幼保連携型認定こども 園、児童養護施設、児童自立支援施設	20	20	12	8
		4	児童発達支援センター				
		5	身体障害者支援センター、障害者支援 施設、地域活動支援センター	8	6	4	2
	ニ	幼稚園、又は特別支援学校	5	5	4	1	
	7		小、中、高、大学校等各種学校の類	37	37	26	11

別表第1区分		管轄別	防火対象物	立入検査回数		
				合計	本署	分署
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	5	5	3	2
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類				
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	3	3		3
10		車両の停車場の類	2	1		1
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	54	42	25	17
12	イ	工場又は作業場	348	165	84	81
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫又は駐車場	16	8	6	2
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫				
14		倉庫	224	86	44	42
15		前各項に該当しない事業所	364	109	52	57
16	イ	(一)～(四)、(五)イ、(六)、(九)イが存する複合用途防火対象物	133	34	20	14
	ロ	イに掲げる以外の複合用途防火対象物	68	10	5	5

(4) 消防用設備等着工届受理状況

平成28年3月31日現在

設備	月別												
	計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計	29	5	2	2	10	2	2	2	2	2			
屋内消火栓設備	4	1			2	1							
スプリンクラー設備	2			1	1								
粉末消火設備(第3種移動式)	1							1					
屋外消火栓設備	1				1								
自動火災報知設備	15	2	1	1	5		1	1	2	2			
火災通報装置	3		1		1		1						
避難器具	2	1				1							
パッケージ型消火設備	1	1											

(5) 消防用設備等設置届受理状況

平成28年3月31日現在

設備	月別												
	計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計	135	13	6	3	23	27	3	4	5	12	15	19	5
消火器具	28	2	1		3	8	1	1	1	4	2	4	1
屋内消火栓設備	6		1	1	2	1				1			
スプリンクラー設備	4				2	1						1	
不活性ガス消火設備	1				1								
粉末消火設備(第3種移動式)	1									1			
屋外消火栓設備	3	1			2								
自動火災報知設備	35	5	2	1	4	6		1	2	4	4	5	1
火災通報装置	6		1	1	2	1		1					
非常警報設備	16	1			2	3		1			4	4	1
避難器具	2				1		1						
誘導灯	25	2			2	5	1		2	2	5	4	2
誘導標識	5	1			1	2						1	
連結送水管	1				1								
パッケージ型消火設備	1		1										
非常電源設備	1	1											

(6) 火災予防条例施行規則に基づく届出状況

平成28年3月31日現在

月別	区分 月計	防火対象物 使用開始	道路 路 工 事	火災とまぎらわしい 行為	催 物 開 催	ボイラー・炉・かまど 設置	少量 危 険 物 貯 蔵	液 化 石 油 ガ ス 貯 蔵	煙 火 打 上 げ	変 電 設 備 等 設 置	指 定 可 燃 物	水 素 ガ ス を 充 填 す る 気 球 の 設 置	露 店 等 の 開 設 届 出 書
	309	27	115	34	6	12	18	11	42	19			25
4	22	1	6	1	1		1	1	3	4			4
5	8	1	5						2				
6	15		9			1		2	1	1			1
7	23	1	1			1	2		14	1			3
8	33	6	2			2	3		13	1			6
9	35	1	21	1	2	1		2	4				3
10	44	1	24	5	2	1	1	1	3				6
11	27	2	19			1	2	1	1				1
12	24	2	8	5	1	2	3			3			
1	32	4	6	15			4	1	1				1
2	27	5	12			1	2	3		4			
3	19	3	2	7		2				5			

## 21. 建築確認申請同意処理状況

### (1) 用途別同意件数

平成28年3月31日現在

別表第1区分		地区別					計		
		水 地 区	原 地 区	安 地 区	田 地 区	笹 地 区		神 地 区	京ヶ 瀬 地 区
1	イ	劇場、映画館、演劇場又は観覧場							
	ロ	公会堂又は集会場					2		
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ その他これらに類するもの							
	ロ	遊技場又はダンスホール							
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗							
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備又 は物品を個室において客に利用させる役務を 提供する業務を営む店舗							
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの							
	ロ	飲食店							
4	百貨店、マーケットその他の物品販売業を 営む店舗又は展示場					6	2	1	9
5	イ	旅館、ホテル又は宿泊所 その他これらに類するもの							
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅						1	
6	イ	1	診療科目中に特定診療科目名の一般病 床を有する病院		3	1		4	
		2	診療科目中に特定診療科目名の一般病床を 有し四人以上の患者を入院させるための施設						
		3	患者を入院させるための施設を有する 診療所又は助産所						
		4	患者を入院させるための施設を有しない 診療所又は助産所		1			1	
	ロ	1	老人短期入所施設、養護老人ホーム 特別養護老人ホーム		1	1		2	
		2	救護施設						
		3	乳児院						
		4	障害児入所施設						
		5	障害者支援施設						
	ハ	1	老人デイサービスセンター、老人福祉センター 老人介護支援センター						
		2	更生施設						
		3	助産施設、保育所、幼保連携型認定こども園 児童養護施設、児童自立支援施設		2	1		3	
		4	児童発達支援センター						
		5	身体障害者福祉センター、障害者支援施設、 地域活動支援センター						
	ニ	幼稚園又は特別支援学校							

7	小、中、高、大学校等各種学校の類					
8	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの					
9	イ 公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類					
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場					
10	車両の駐車場の類					
11	神社、寺院、教会その他これらに類するもの	2				2
12	イ 工場又は作業場		4	1		5
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ					
13	イ 自動車車庫又は駐車場					
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫					
14	倉庫		3	3		6
15	前各項に該当しない事業所	4	4	3	1	12
16	イ (一)～(四)、(五)イ、(六)、(九)イが存する複合用途防火対象物	1				1
	ロ イに掲げる以外の複合用途防火対象物		1			1
	小計	22	17	8	2	49
	その他	27	11	9	8	55
	専用住宅	6	3	5	1	15
	合計	55	31	22	11	119
前年度合計		31	24	23	2	80

## (2) 構造別同意件数

平成28年3月31日現在

構造別 \ 地区別	水 原 区	安 田 区	笹 神 区	京ヶ瀬 地 区	計
木 造 1 階 建	11	10	6	3	30
木 造 2 階 建	14	8	5	2	29
木 造 3 階 建					
木 造 一 部 鉄 骨 造					
木 造 一 部 鉄 骨 造 2 階 建					
鉄筋コンクリート1階建	2				2
鉄筋コンクリート2階建					
鉄筋コンクリート3階建	3				3
鉄筋コンクリート地階					
鉄筋コンクリート一部鉄骨造1階		2			2
鉄筋コンクリート一部鉄骨造3階	1				1
鉄 骨 造 1 階 建	19	7	7	2	35
鉄 骨 造 2 階 建	1	1			2
鉄 骨 造 3 階 建		1			1
鉄 骨 造 4 階 建					
鉄 骨 造 6 階 建	1				1
鉄骨造一部ブロック造2階建					
鉄骨造一部鉄筋コンクリート4階建					
軽量鉄骨造1階建	1		1	3	5
軽量鉄骨造2階建					
鉄骨一部木造1階建	1	1			2
鉄骨一部木造2階建					
骨組膜構造1階		1			1
アルミニウム合金造			1		1
ルミ造1階	2			1	3
そ の 他	1				1
合 計	57	31	20	11	119

(3) 工事別同意件数

平成28年3月31日現在

工事別	地区別				計
	水原区	安田区	笹神区	京ヶ瀬区	
新築	33	25	16	9	83
改築	4		2		6
増築	5	3		2	10
移築	1				1
用途変更	1	1			2
計画変更	10	2	2		14
大規模の修繕、増築					
その他(工作物)	3				3
合計	57	31	20	11	119

不同意件数 なし

# 救急・救助



## 【平成27年の概況】

### 救 急

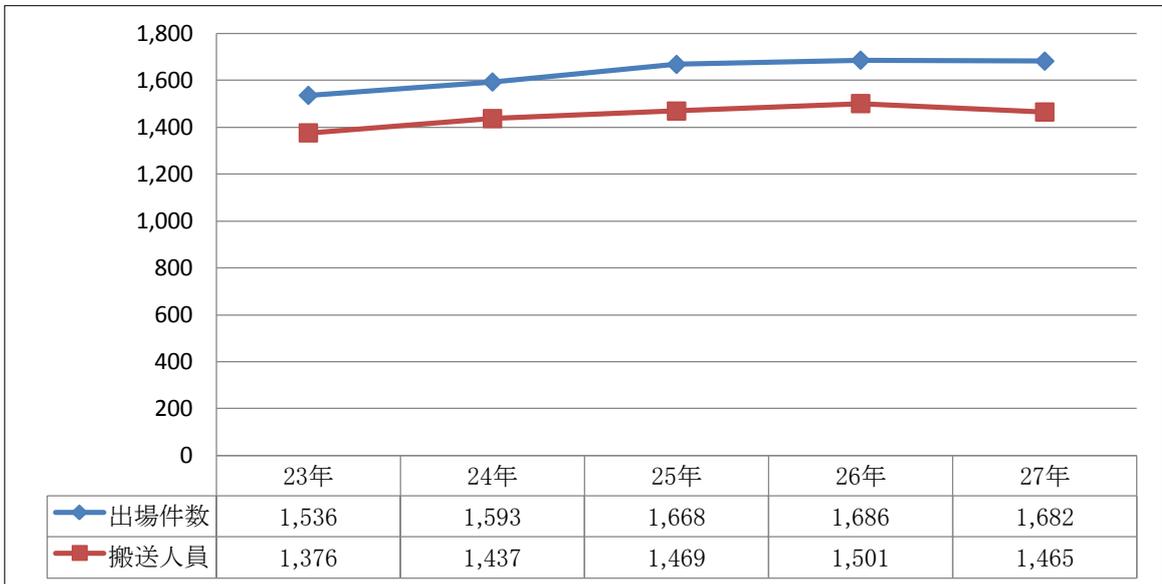
- 出場件数 1,682 件、前年比較 4 件減、搬送人員 1,465 人、前年比較 36 人減となった。
- 搬送人員のうち、高齢者が 960 人、前年比較 8 人減、全体の 65.5%を占めている。
- 搬送人員のうち、軽症が 690 人、前年比較 88 人減、全体の 47.1%を占めている。
- 医療機関への搬送状況は、329 人(22.5%)が管内の医療機関へ、1,136 人(77.5%)が管外の医療機関に搬送されている。

### 救 助

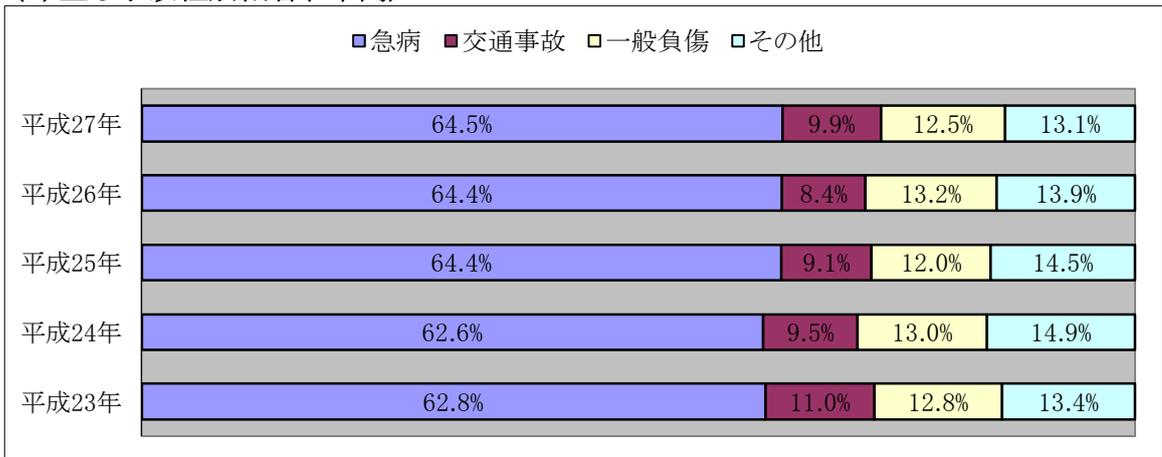
- 出動件数 29 件で、交通事故 24 件、建物等による事故 3 件、その他 2 件であった。  
活動件数は交通事故 16 件、その他 1 件であった。

## 22. 救急統計

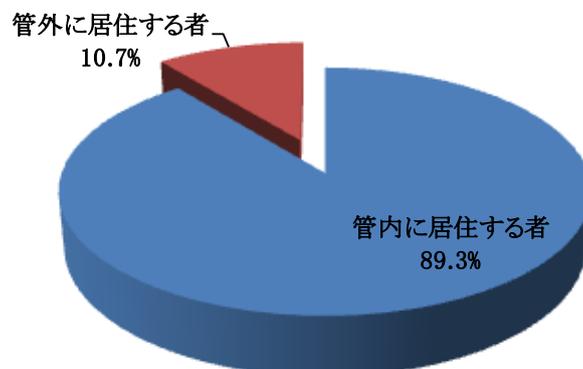
(1) 出場件数、搬送人員状況(5年間)



(2) 主な事故種別割合(5年間)



(3) 傷病者の住所別搬送状況

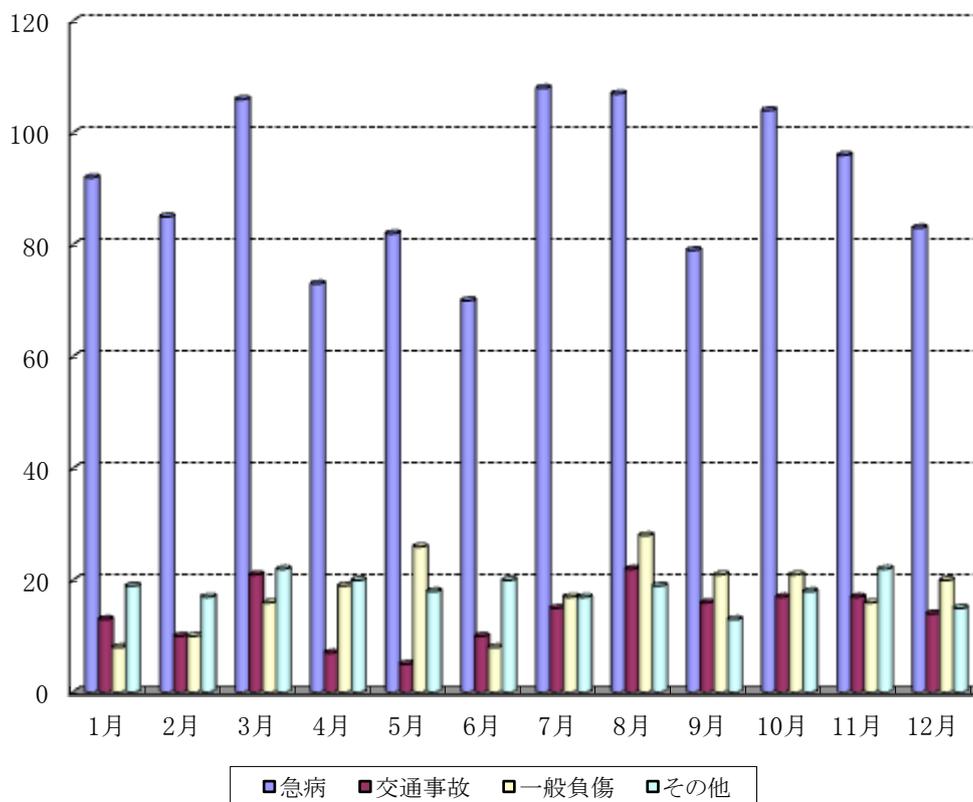


(4) 平成27年救急出場状況

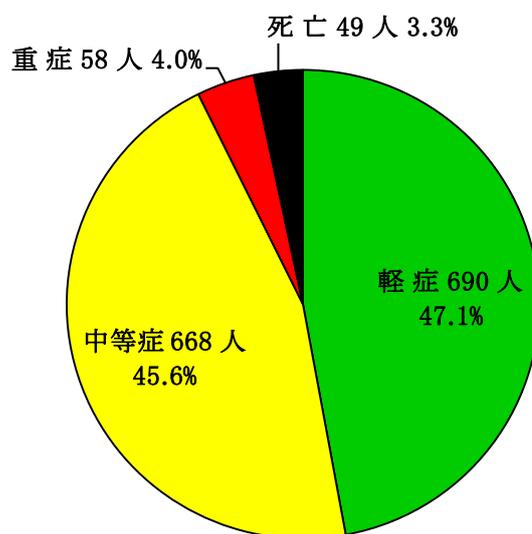
区 分	合 計	救 急 種 別											不 搬 送	
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 災	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他		
1月	出動件数	132				13	2		8	1	3	92	13	11
	搬送人員	123				14	2		8		1	86	12	
2月	出動件数	122	2			10	1		10		1	85	13	23
	搬送人員	99				3	1		8		1	73	13	
3月	出動件数	165	2			21	1		16		1	106	18	25
	搬送人員	142				15	1		15		1	92	18	
4月	出動件数	119				7	3		19		2	73	15	17
	搬送人員	102				4	3		16		2	63	14	
5月	出動件数	131	1			5	1		26	1	2	82	13	15
	搬送人員	116				4	1		23		1	75	12	
6月	出動件数	108				10	2		8		2	70	16	13
	搬送人員	95				8	2		7			62	16	
7月	出動件数	157	2			15		1	17	1	1	108	12	21
	搬送人員	139				16		1	15			96	11	
8月	出動件数	176				22	1	2	28			107	16	19
	搬送人員	158				20	1	2	25			95	15	
9月	出動件数	129	1			16	1		21		1	79	10	22
	搬送人員	111				17	1		17		1	66	9	
10月	出動件数	160				17	2	1	21		1	104	14	23
	搬送人員	138				15	2	1	18		1	89	12	
11月	出動件数	151				17	2		16	1	4	96	15	26
	搬送人員	128				14	2		12	1	1	83	15	
12月	出動件数	132	1			14	2		20			83	12	19
	搬送人員	114				13	2		17			72	10	
合計	出動件数	1,682	9			167	18	4	210	4	18	1,085	167	234
	搬送人員	1,465				143	18	4	181	1	9	952	157	
比率	出動件数	100%	0.5%			9.9%	1.1%	0.2%	12.5%	0.2%	1.1%	64.5%	9.9%	13.9%
	搬送人員	100%				9.8%	1.2%	0.3%	12.4%	0.1%	0.6%	65.0%	10.7%	

### (5) 月別出場状況

(件)



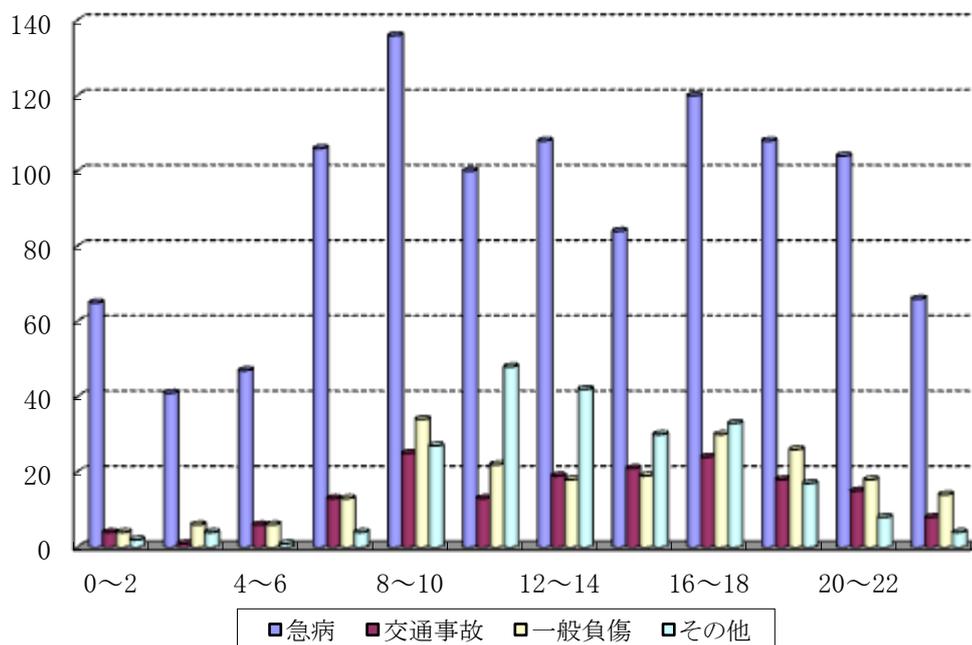
### (6) 傷病程度別搬送人員



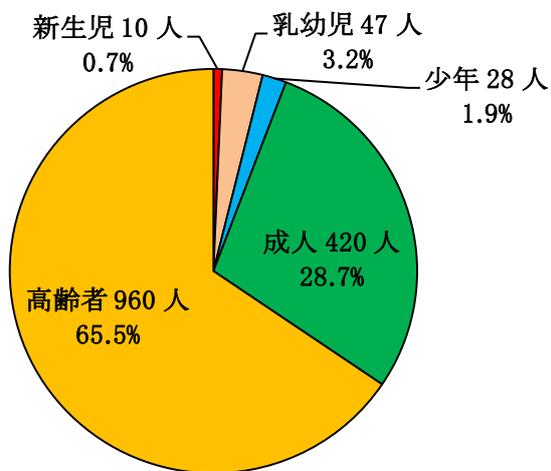
	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
軽症	447	116	98	29	690
中等症	418	20	75	155	668
重症	45	4	6	3	58
死亡	42	3	2	2	49
計	952	143	181	189	1,465

(7) 覚知時刻別出場件数

(件)

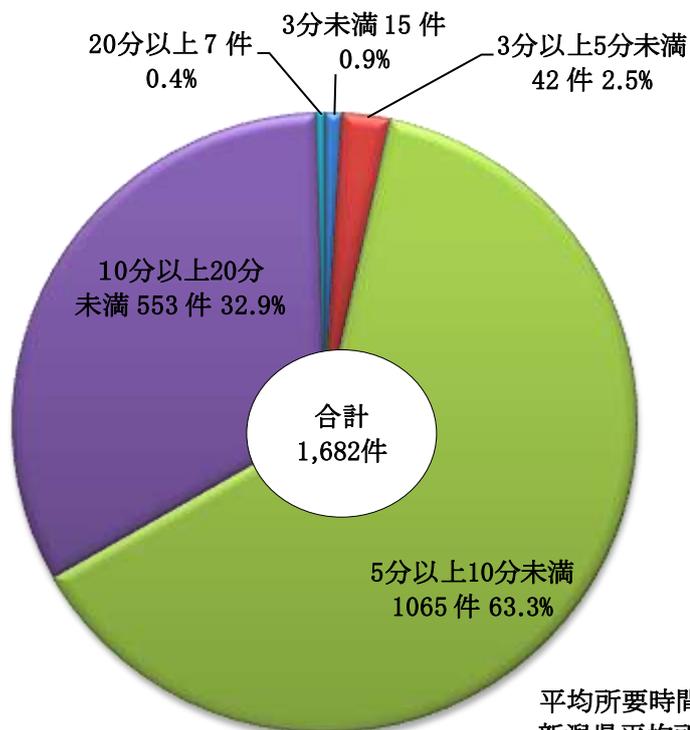


(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員



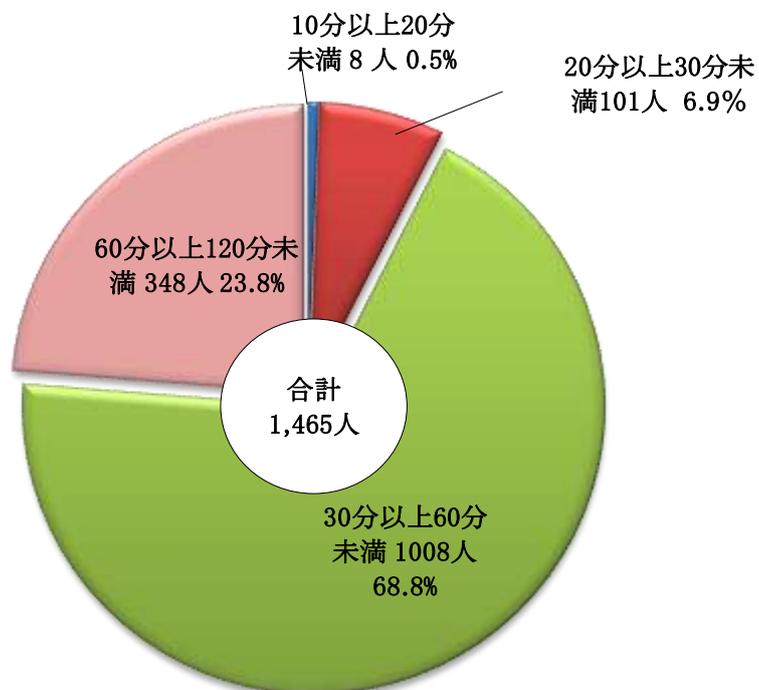
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
火災						
自然災害						
水難						
交通事故		2	6	76	59	143
労働災害				17	1	18
運動競技			3	1		4
一般負傷	1	2	4	39	135	181
加害				1		1
自損行為				8	1	9
急病		41	14	245	652	952
その他	9	2	1	33	112	157
合計	10	47	28	420	960	1,465

(9) 現場到着所要時間別出場件数



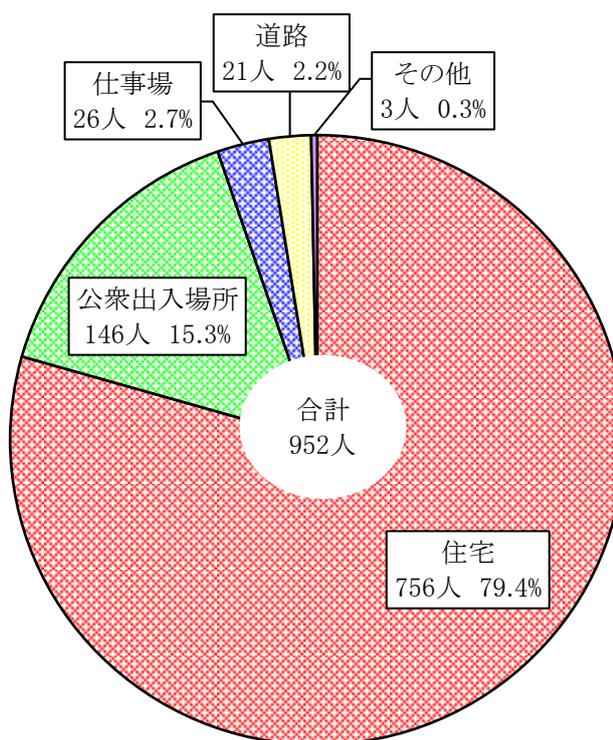
平均所要時間(H27)	8.7分
新潟県平均所要時間(H26)	8.9分
全国平均所要時間(H26)	8.6分

(10) 収容所要時間別搬送人員

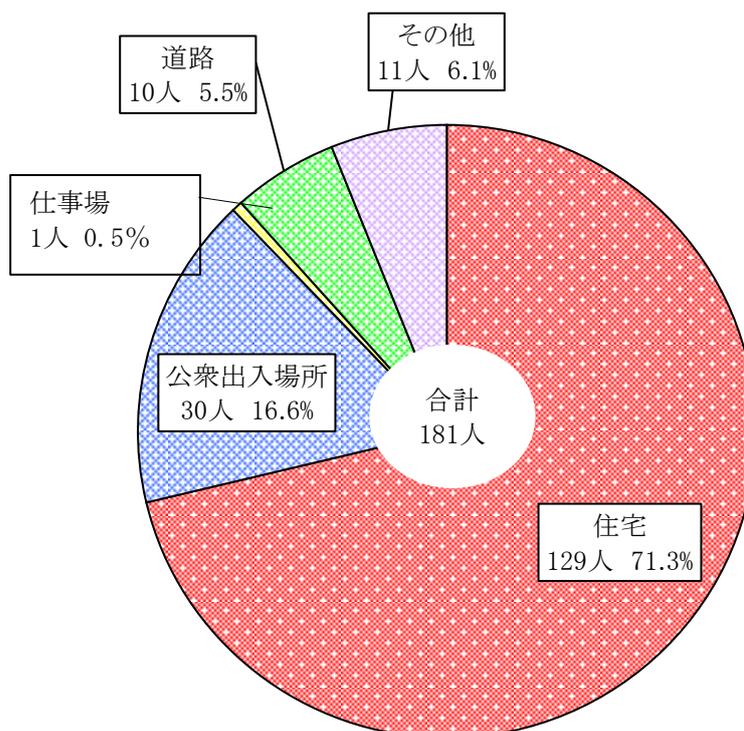


最短時間(H27)	11分
最長時間(H27)	117分
平均所要時間(H27)	50.0分
新潟県平均収容所要時間(H26)	43.4分
全国平均収容所要時間(H26)	39.4分

(11) 急病、発生場所別搬送人員



(12) 一般負傷、発生場所別搬送人員



(13) 応急処置等の状況

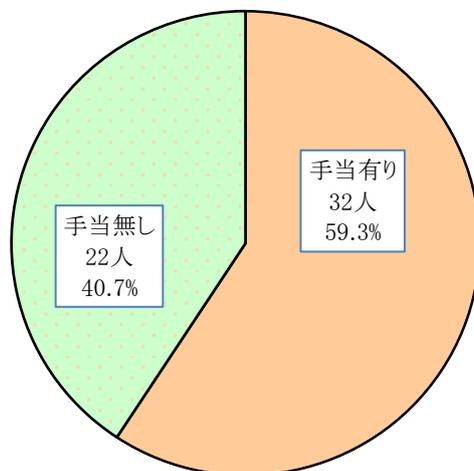
	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
止血	4	4	21	7	36
固定	5	70	18	5	98
人工呼吸	16	1	2	1	20
心マッサージ	17	1	1	1	20
心肺蘇生	40	3	4	2	49
酸素吸入	279	22	17	49	367
気道確保	68	4	5	3	80
保温	21	2	7	4	34
被覆	5	19	38	10	72
在宅療法継続	11				11
ショックパンツ					0
除細動	5				5
静脈路確保(輸液CPA前後)	21	1	2	2	26
薬剤投与	3		1		4
その他の応急処置	929	113	167	160	1,369
血圧測定	895	131	175	173	1,374
聴診器による心音等の聴取	369	52	31	33	485
血中酸素飽和濃度測定	903	133	175	175	1,386
心電図測定	850	93	126	137	1,206
血糖測定	10		1		11
ブドウ糖投与					0
処置合計	4,451	649	791	762	6,653

(14) 磐越自動車道における救急出動状況

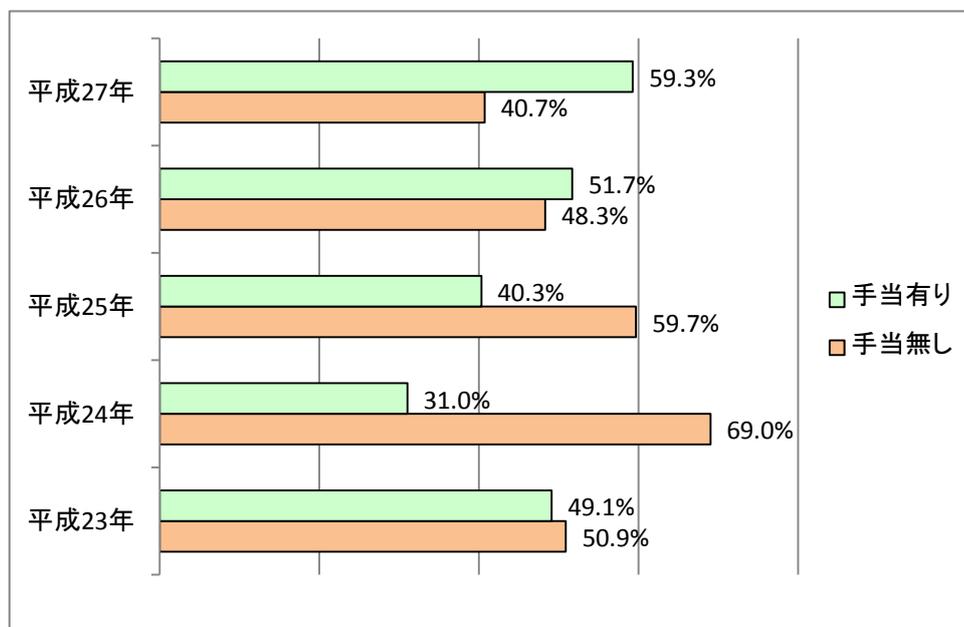
福島県へ	管轄区域 24.5km		新潟中央JCへ
	上り	下り	
三川IC 174KP	安田IC 188.9KP	新津IC 198.5KP	
応援出動(阿賀町消防本部)		応援出動(新潟市消防局)	
出動件数	0件	出動件数	0件
搬送人員	0人	搬送人員	0人
		出動件数	1件
		搬送人員	0人

## (15) CPA症例の状況

### (ア) バイスタンダーによる応急手当等



### (イ) バイスタンダーによる応急手当等の年別比較(5年間)



(16) 応急手当普及活動状況

H27.月別 講習別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	H26	H25	H24	H23
															計	計	計	計
上級	回数																	
	人員																	
普通	回数		1	2	1	3	3	1	1	3	1		1	17	12	8	28	13
	人員		25	14	118	63	47	53	16	69	18		23	446	341	213	520	250
入門	回数	3				1	1	2		3	1			11	8	1		
	人員	84				53	7	40		63	9			256	181	62		
その他	回数	1	2		2	3	12	13	2	3	3	9	1	51	51	49	50	38
	人員	9	167		34	84	188	343	35	73	81	172	28	1,214	1,695	1,199	1,221	1,074
計	回数	4	3	2	3	7	16	16	3	9	5	9	2	79	71	58	78	51
	人員	93	192	14	152	200	242	436	51	205	108	172	51	1,916	2,217	1,474	1,741	1,324

## 23. 収容状況

### (1) 収容状況

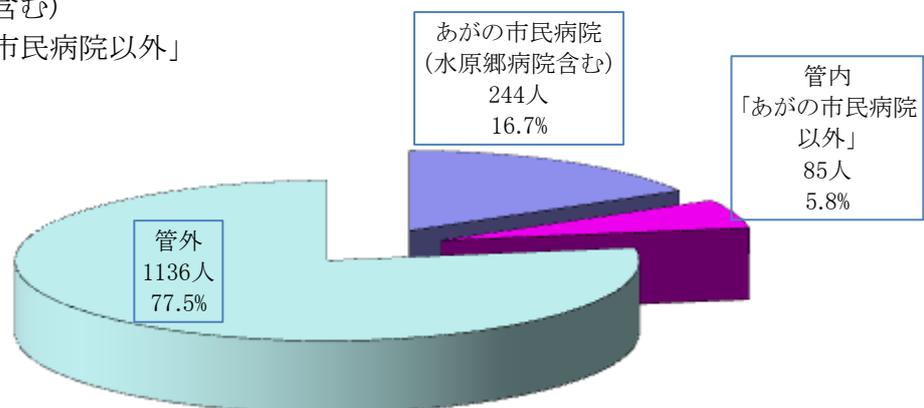
(人)

	管内		管外			
	救急医療機関	国立		国立	11	
公立			公立	780		
公的			公的	42		
私的		病院		私的	病院	275
		診療所				
計			計	1,108		
その他の医療機関	国立		国立			
	公立		公立	22		
	公的	244	公的	1		
	私的	病院	2	私的	病院	3
		診療所	82			
計		328	計	28		
合計		328		1,136		
その他の場所	接骨院等		接骨院等			
	その他	1	その他			
	計	1	計			
総計		1,465				

■あがの市民病院  
(水原郷病院含む)

■管内「あがの市民病院以外」

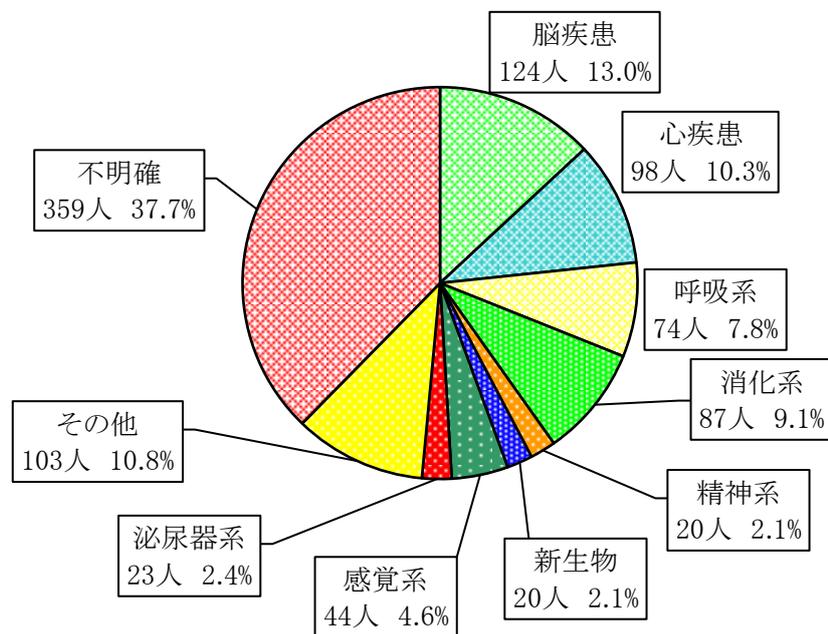
□管 外



### (2) 事故種別転送回数搬送人員

	急病	交通	一般負傷	その他	計
0回	939	143	180	188	1,450
1回	13		1	1	15
2回					
3回以上					
計	952	143	181	189	1,465

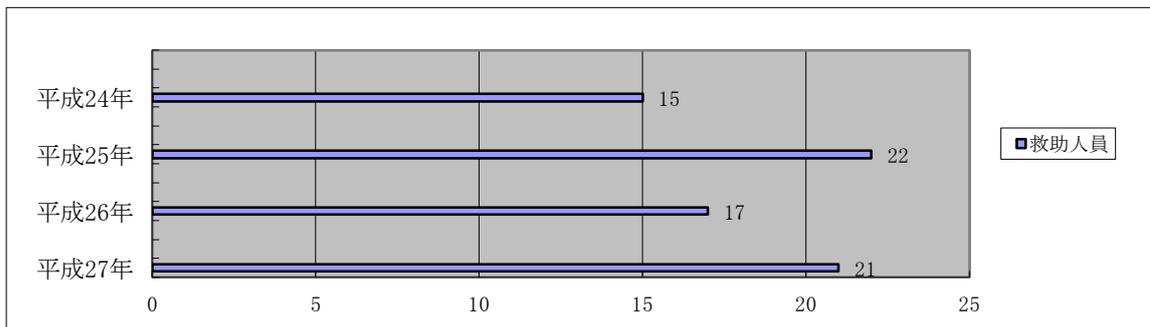
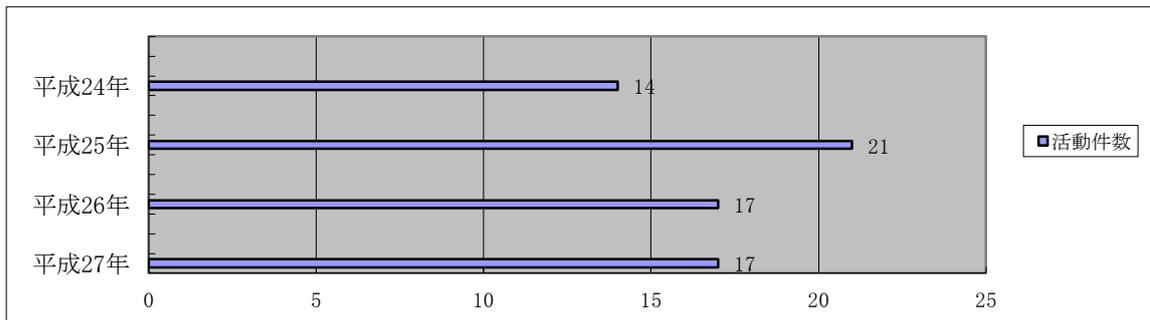
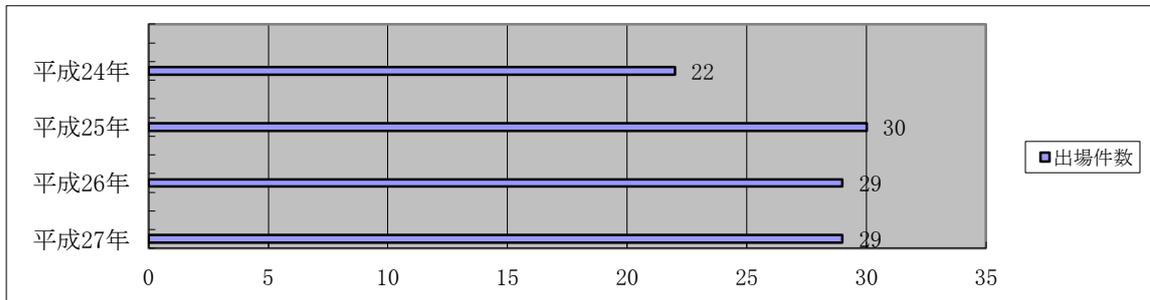
### (3) 急病に係る疾病分類と搬送人員



## 24. 救助統計

### (1) 救助活動状況

		火災		交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	計
		建物	建物以外									
平成23年	出動件数			23		2					4	29
	活動件数			17		1					3	21
	救助人員			21		1					3	25
平成24年	出動件数			15			1				6	22
	活動件数			9			1				4	14
	救助人員			9			1				5	15
平成25年	出動件数			24	3						3	30
	活動件数			16	3						2	21
	救助人員			17	3						2	22
平成26年	出動件数			17	4		1				7	29
	活動件数			11	2						4	17
	救助人員			12	1						4	17
平成27年	出動件数			24					3		2	29
	活動件数			16							1	17
	救助人員			20							1	21





# 消防団

- 平成 16 年 4 月 1 日、町村合併により阿賀野市が誕生したことに伴い、消防団も 4 つの消防団（水原町消防団、安田町消防団、笹神村消防団、京ヶ瀬村消防団）が 1 つになり、阿賀野市消防団が誕生した。
- 平成 17 年度に初の女性消防団、女性部「阿賀さくら」を発足。  
消防団行事への参加の他、一人暮らし高齢者の住宅防火診断や幼稚園への防火紙芝居実施など予防業務を行なっている。  
現在 部長 1 名、班長 1 名、団員 6 名の計 8 名で活動を実施している。
- 平成 19 年度から平成 21 年度の 3 年計画で組織再編を実施した。  
平成 22 年度は定員 798 名、13 分団、76 部となっている。  
平成 27 年度から指導体制強化のため、副分団長 12 名増やし、定員 810 名にした。
- 主たる事業は、春秋の防火宣伝、消防大会、水防工法演習、防災訓練、出初式などである。
- 平成 27 年の第 12 回阿賀野市消防大会で安田第 1 分団第 4 部が、ポンプ操法競技会で優勝し、三市北蒲原地区支会のポンプ操法競技会小型ポンプの部に出場した。

## 25. 消防団員数・年報酬等調べ

### (1) 年報酬

平成27年4月1日現在(単位 円)

区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
阿賀野市	119,500	76,400	48,300	41,800	33,600	18,500	14,000

### (2) 諸手当 (1回又は1日につき)

平成27年4月1日現在(単位 円)

区分	会 議	訓 練	災害出動	警 戒	捜 索
阿賀野市	3,000	4時間未満 3,000 4時間以上 5,400	3,000	3,000	3,000

### (3) 消防団員数

平成27年4月1日現在(単位 人)

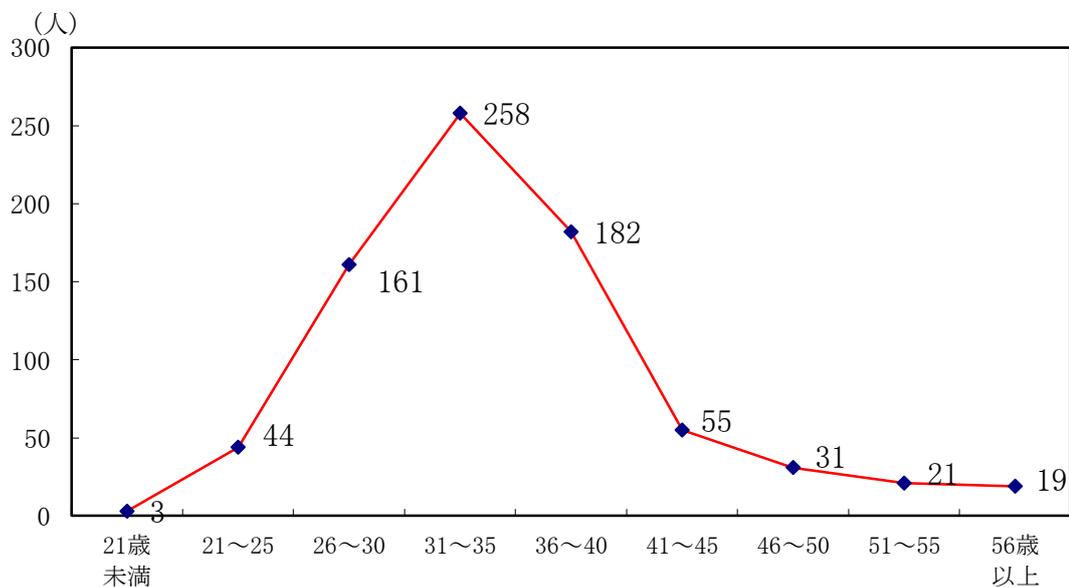
区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合計	定員
阿賀野市	1	2	13	25	76	77	580	774	810

### (4) 年齢別消防団員数

平成27年4月1日現在(単位 人)

区分	21歳未満	21~25	26~30	31~35	36~40	41~45	46~50	51~55	56歳以上
阿賀野市	3	44	161	258	182	55	31	21	19

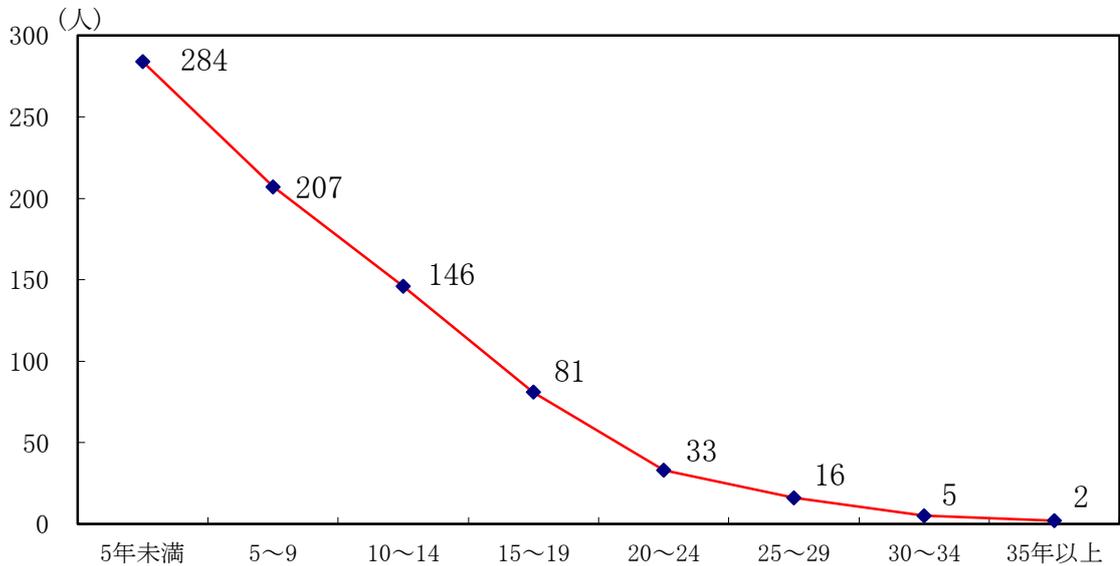
平均年齢 (35.0歳)



(5) 在職年数別消防団員数

(単位 人)

区分	5年未満	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35年以上
阿賀野市	284	207	146	81	33	16	5	2



## 26. 消防団機械器具

(単位 台)

区分	消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ積載自動車
阿賀野市	1	0	75

※平成27年2月1日 消防庁所有の救助資機材搭載型消防ポンプ自動車に入れ替える。



- 気象については、阿賀野市消防署及びかがやき分署で記録したものである。  
安田地区の気象については、阿賀野川沿いに吹き降ろす東南東の風は、「安田ダシ」と言われる名物的な風で、特異な気象状況である。
- 天候の日数比較は、阿賀野市消防署で朝 9 時現在の観測を集計したものである。  
晴れの日数は、141日で前年比較増減なし。  
曇りの日数は、174日で前年比較 20日増加した。  
雨の日数は、39日で前年比較 18日減少した。  
雪の日数は、11日で前年比較 2日減少した。
- 降雨量は、※860 mmで前年比較 68.5 mm減少した。  
※1、2、3、12月冬期間のため観測休止。  
日最高降雨量は、7月20日の 60 mmであった。
- 通算降雪量は、428.1 cmで前年比較 124.1 cm増加した。  
降雪日数は、22日で前年比較 9日減少した。  
最多積雪は、1月25日の 73cmであった。

## 27. 平成27年気象状況

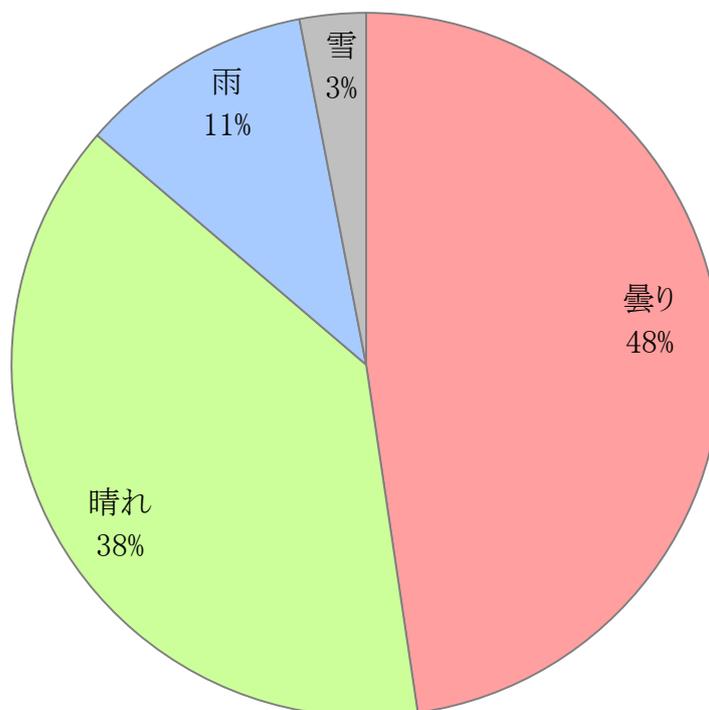
### (1) 月別天候(9時現在) (3年間)

(単位:日)

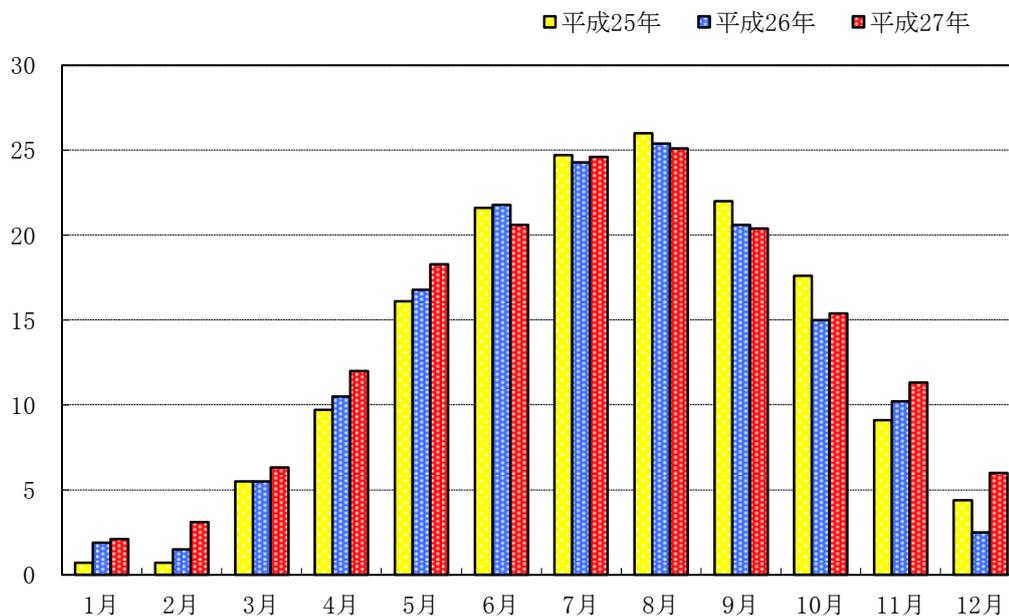
天候 月 \ 年	晴れ			曇り			雨			雪		
	25	26	27	25	26	27	25	26	27	25	26	27
1	3	8	3	18	14	24	2	4	2	8	5	2
2	2	2	4	17	23	14	2	1	3	7	2	7
3	13	4	13	15	20	15	2	6	2	1	1	1
4	10	20	15	14	8	12	6	2	3	0	0	0
5	18	19	21	11	9	8	2	3	2	0	0	0
6	18	15	12	9	12	15	3	3	3	0	0	0
7	5	13	12	19	11	15	7	7	4	0	0	0
8	15	10	14	7	16	16	9	5	1	0	0	0
9	15	20	13	11	8	12	4	2	5	0	0	0
10	* 13	16	16	* 12	8	13	* 5	7	2	0	0	0
11	6	13	11	12	9	12	12	8	7	0	0	0
12	4	1	7	20	16	18	6	9	5	1	5	1
合計	122	141	141	165	154	174	60	57	39	17	13	11

\* 平成25年10月20日観測機メンテナンスのため欠測

### (2) 平成27年の天候割合(9時現在)



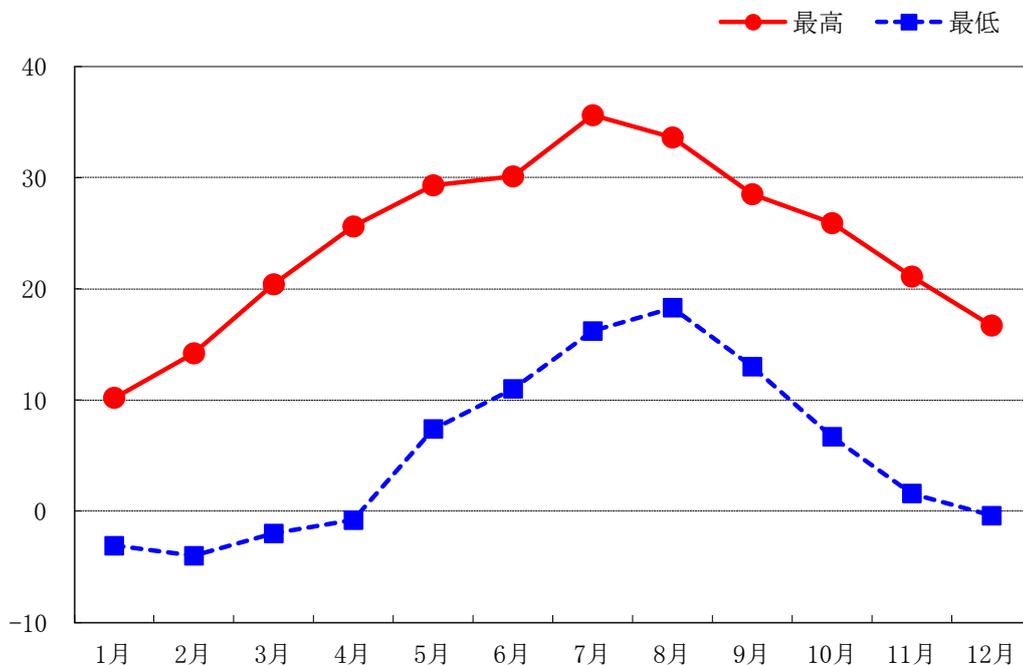
### (3) 月別平均温度(3年間)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成25年	0.7	0.7	5.5	9.7	16.1	21.6	24.7	26.0	22.0	17.6	9.1	4.4
平成26年	1.9	1.5	5.5	10.5	16.8	21.8	24.3	25.4	20.6	15.0	10.2	2.5
平成27年	2.1	3.1	6.3	12.0	18.3	20.6	24.6	25.1	20.4	15.4	11.3	6.0

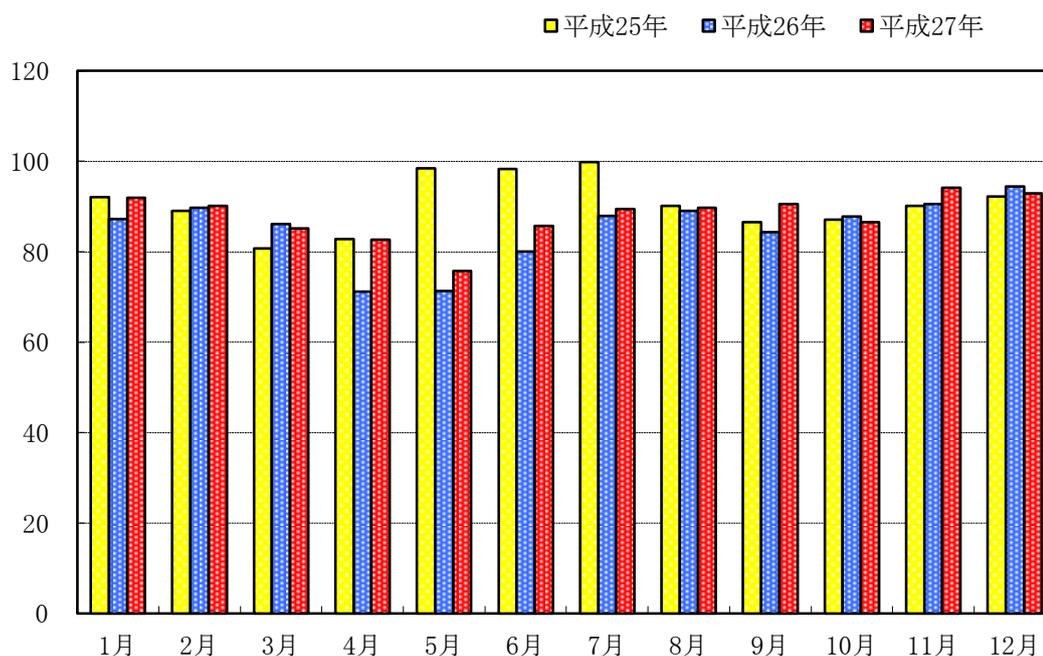
※H25年10月20日 観測機メンテナンスのため欠測

### (4) 平成27年月別最高・最低気温



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高	10.2	14.2	20.4	25.6	29.3	30.1	35.6	33.6	28.5	25.9	21.1	16.7
最低	-3.1	-4.0	-2.0	-0.8	7.4	11.0	16.2	18.3	13.0	6.7	1.6	-0.4

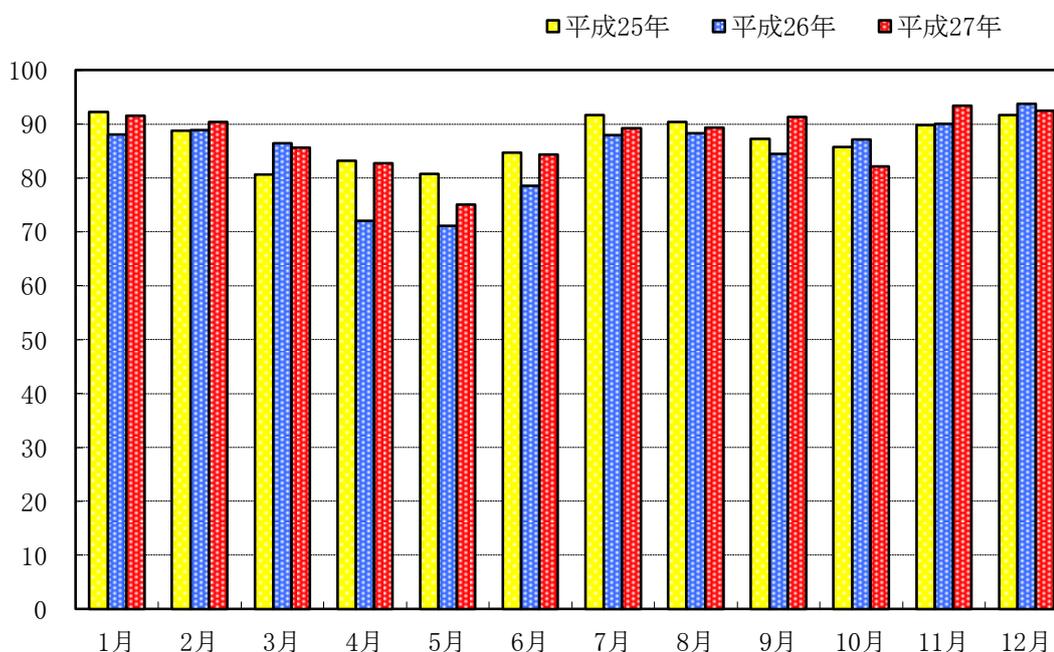
### (5) 月別平均相対湿度(3年間)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成25年	92.1	89.0	80.7	82.8	98.5	98.3	99.9	90.2	86.5	※87.1	90.2	92.2
平成26年	87.2	89.8	86.2	71.2	71.4	80.0	87.9	89.1	84.3	87.8	90.5	94.5
平成27年	91.9	90.1	85.2	82.7	75.7	85.7	89.4	89.8	90.6	86.5	94.1	92.9

※H25年10月20日 観測機メンテナンスのため欠測

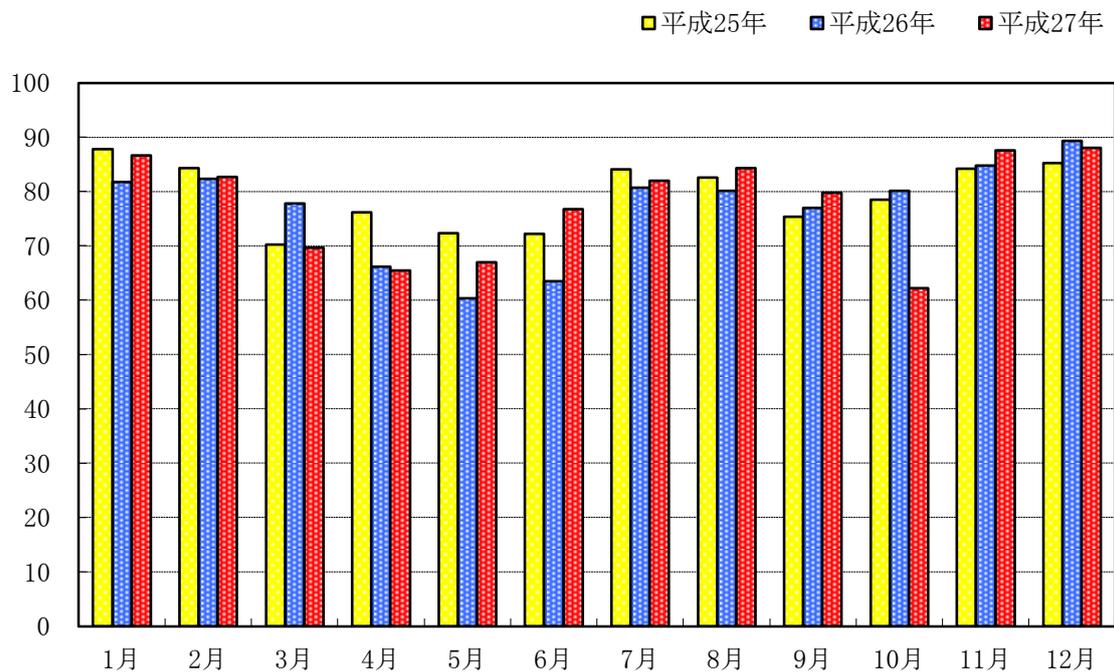
### (6) 月別平均実効湿度(3年間)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成25年	92.3	88.8	80.6	83.2	80.8	84.7	91.7	90.4	87.3	※85.8	89.8	91.7
平成26年	88.1	88.9	86.5	72.1	71.1	78.6	87.9	88.3	84.5	87.2	90.0	93.8
平成27年	91.5	90.4	85.6	82.7	75.1	84.3	89.2	89.4	91.3	82.1	93.4	92.5

※H25年10月20日 観測機メンテナンスのため欠測

(7) 月別最低実効湿度(3年間)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成25年	87.8	84.3	70.2	76.1	72.3	72.2	84.1	82.6	75.3	※78.5	84.2	85.2
平成26年	81.7	82.3	77.8	66.2	60.3	63.5	80.7	80.1	77.0	80.1	84.8	89.3
平成27年	86.6	82.7	69.6	65.5	67.0	76.7	82.0	84.3	79.8	62.2	87.5	88.0

※H25年10月20日 観測機メンテナンスのため欠測

### (8) 月別平均風向

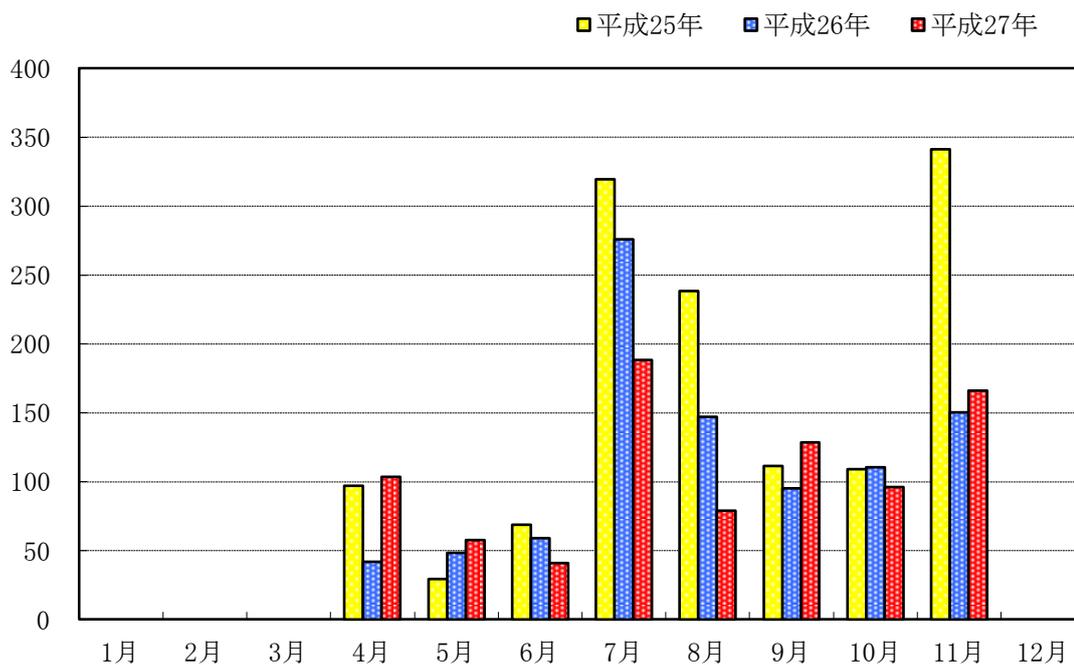
風向 月	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	靜穩
1月	2	1							9	3			3	10	2	1	
2月								5	9	3		2	2	6	1		
3月	3	3						3	4	4		5	6	3			
4月	8	7						3	6	1	2		3				
5月	2	8						2	3	2	1	3	7	2		1	
6月	6	9						5	1	3	2	2	1	1			
7月	5	11						1	4	3	2	2	2	1			
8月	7	8	1					4	6	2	2		1				
9月	3	6	1				1	3	3	8	1	1	2	1			
10月	3	5	1					1	7	10		1	1	1	1		
11月	4	7	2				2	1	4	8		2					
12月	5						1		4	11	1	1	1	2	3	2	
年計	48	65	5	0	0	0	4	28	60	58	11	19	29	27	7	4	0

### (9) 月別風速

単位 m/s

月	平均風速	最大瞬間風速	月	平均風速	最大瞬間風速
1	4.5m/s	24.1m/s (1月7日)	7	2.3m/s	15.6m/s (7月17日)
2	4.4m/s	31.3m/s (2月27日)	8	2.6m/s	40.3m/s (8月25日)
3	4.4m/s	27.9m/s (3月5日)	9	2.9m/s	31.6m/s (9月9日)
4	3.2m/s	24.7m/s (4月17日)	10	3.3m/s	21.9m/s (10月1日)
5	3.5m/s	25.4m/s (5月13日)	11	2.9m/s	25.1m/s (11月27日)
6	3.2m/s	22.5m/s (6月4日)	12	3.6m/s	27.2m/s (12月4日)

(10) 月別降雨量(3年間)

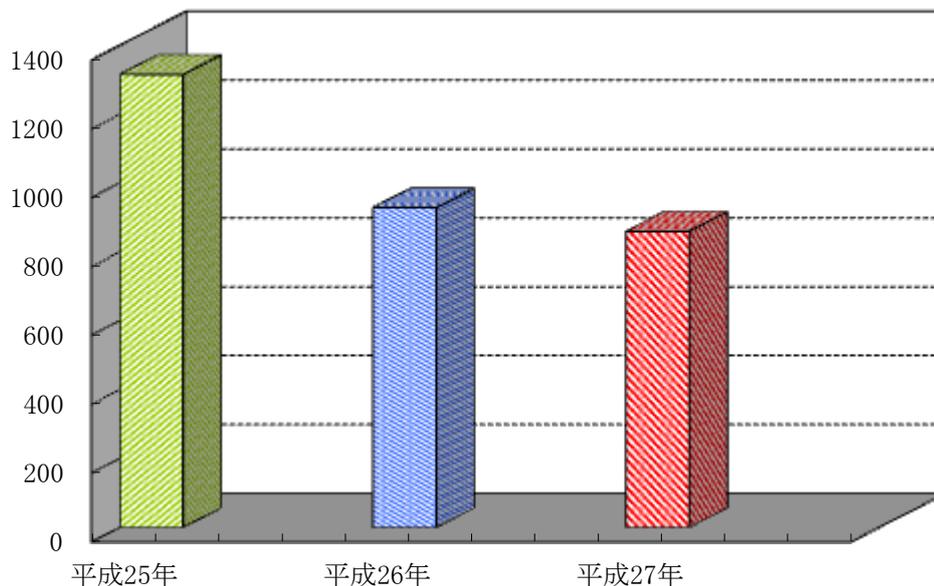


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成25年	※	※	※	97.0	29.5	69.0	319.5	238.5	111.5	109.0	341.5	※
平成26年	※	※	※	42.0	48.5	59.0	276.0	147.0	95.0	110.5	150.5	※
平成27年	※	※	※	103.5	57.5	41.0	188.5	79.0	128.5	96.0	166.0	※

※冬期間(12・1・2・3月)観測休止

※H25年10月20日観測機メンテナンスのため欠測

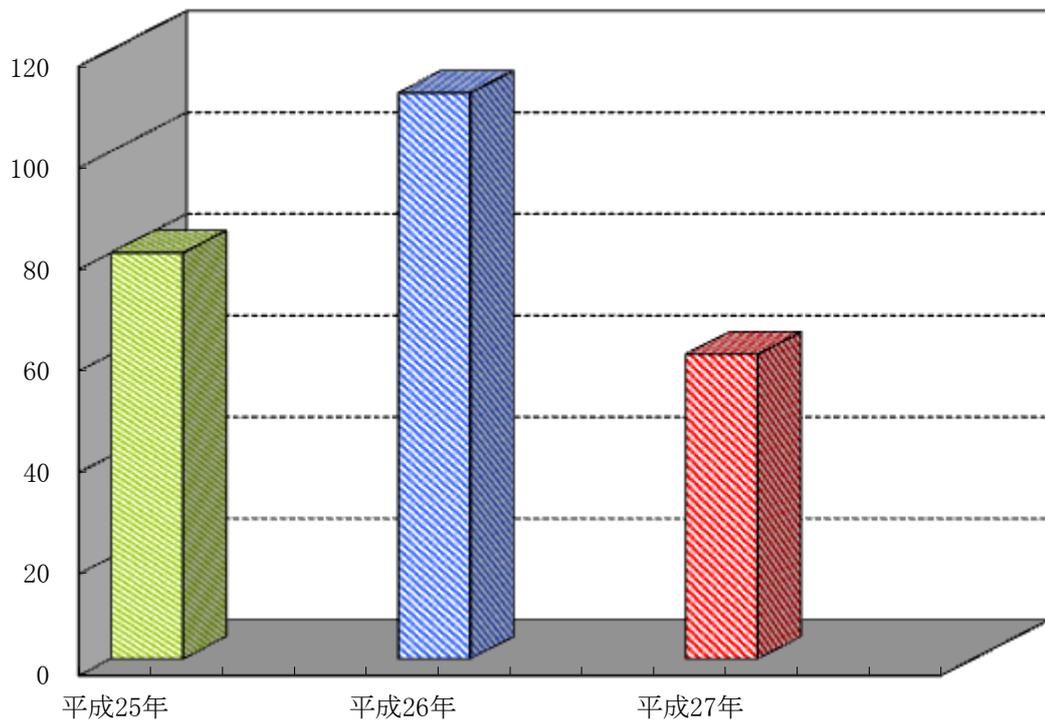
(11) 年別総降雨量(3年間)



	平成25年	平成26年	平成27年
年間降雨量	※ 1,315.5	※ 928.5	※ 860.0

※冬期間(12・1・2・3月)観測休止

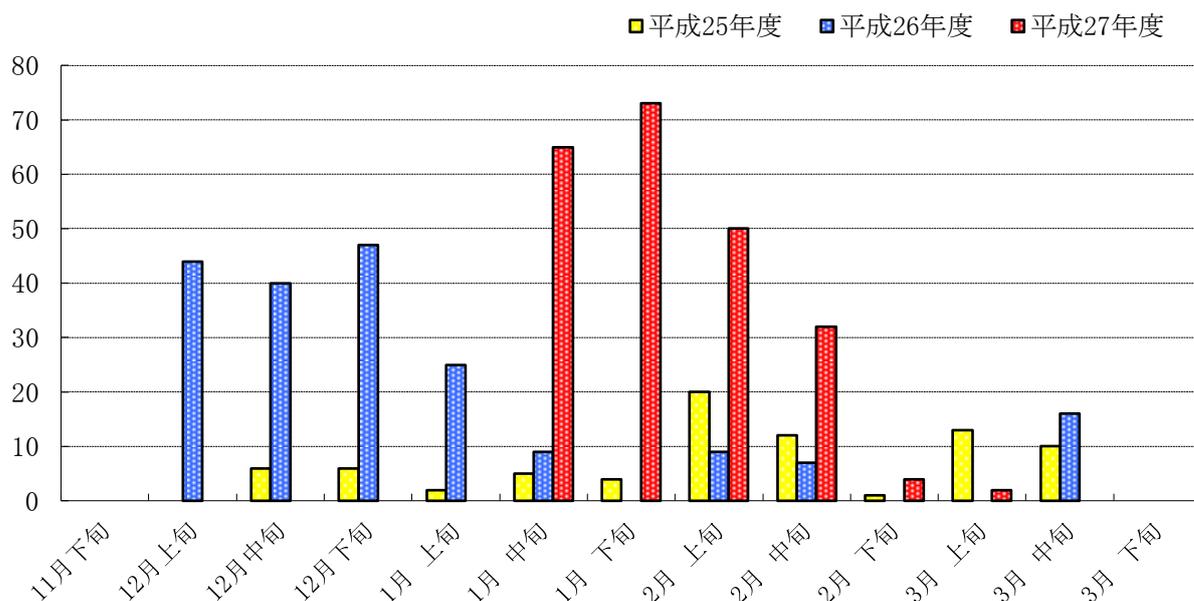
(12) 年別1日最高降雨量(3年間)



	平成25年	平成26年	平成27年
1日最高	※ 80.0	※ 111.5	※ 60
	8月20日	7月9日	7月20日

※冬期間(12・1・2・3月)観測休止 (mm)

### (13) 最多積雪(3年間)



	11月 下旬	12月 月上旬	12月 中旬	12月 下旬	1月 月上旬	1月 中旬	1月 下旬	2月 月上旬	2月 中旬	2月 下旬	3月 月上旬	3月 中旬	3月 下旬
平成25年度	0	0	6	6	2	5	4	20	12	1	13	10	0
平成26年度	0	44	40	47	25	9	0	9	7	0	0	16	0
平成27年度	0	0	0	0	0	65	73	50	32	4	2	0	0

	初雪	通算降雪量	1日最多降雪量	最終融雪日
平成25年度	12月13日	105.0cm	27.0cm	3月11日
平成26年度	12月3日	304.0cm	58.0cm(12月14日)	3月14日
平成27年度	1月12日	428.1cm	105.0cm(1月25日)	3月2日

## 28. 安田地区気象状況

### (1) 年間気温・湿度

年間最高気温	37.5 °C	7 月 13 日
年間最低気温	-4.0 °C	2 月 8・9 日
年間最高相対湿度	99.0 %	2月6日、20日、3月12日、13日、20日、12月28日
年間最低相対湿度	30.0 %	4 月 27 日
年間最高実効湿度	95.6 %	1 月 5 日
年間最低実効湿度	49.4 %	4 月 29 日

### (2) 火災警報発令件数及び延べ日数 (発令無し)

### (3) 風向(9時から翌日9時までの24時間中の主たる風向)

月	風向															最多風向	
	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西		
1	0	1	0	0	0	0	2	4	8	4	2	0	1	2	7	0	南
2	0	0	0	0	0	1	1	7	6	1	2	0	1	1	6	2	南南東
3	2	1	2	0	0	1	3	4	5	2	1	0	4	2	3	1	南
4	4	6	2	0	0	0	1	9	4	0	1	0	2	0	0	1	南南東
5	3	2	4	0	0	0	3	1	3	2	3	1	7	1	1	0	西
6	3	10	0	0	1	0	4	2	3	3	1	0	1	0	0	0	北北東
7	4	9	1	0	0	0	0	3	11	0	1	0	0	0	1	0	南
8	1	9	4	0	1	0	6	5	4	0	0	0	1	0	0	0	北北東
9	8	1	2	0	0	0	5	1	9	0	2	0	0	1	1	0	南
10	5	6	1	0	1	0	0	3	8	1	0	2	1	2	0	1	南
11	4	4	2	1	1	0	2	5	4	4	2	0	0	1	0	0	南南東
12	7	0	2	0	1	1	0	3	6	6	1	0	0	1	1	1	北
年計	41	49	20	1	5	3	27	47	71	23	16	3	18	11	20	6	南

## (4) 風速

(単位: m/s)

月	瞬間最大風速最高		摘要
1	19.0	16日	
2	23.5	22・26日	
3	24.0	8・9日	
4	34.0	13日	
5	25.0	29日	
6	27.0	18日	
7	28.0	17日	
8	43.0	25日	
9	36.0	9日	
10	26.0	1日	
11	35.0	25日	
12	25.5	2日	

年間瞬間最大風速最大 43.0 m/s (8月25日)

## (5) 降雨量

(単位: mm)

月	降 雨 量			降雨日数	記録日数	摘要
	1ヶ月合計	1日最高	1日平均			
1						冬期間休止
2						冬期間休止
3						冬期間休止
4	115.0	31.0	3.8	12日	30日	
5	57.0	21.0	1.8	7日	31日	
6	49.5	18.0	1.7	8日	30日	
7	162.0	54.0	5.2	13日	31日	
8	101.5	22.5	3.3	13日	31日	
9	113.0	23.5	3.8	18日	30日	
10	118.5	22.0	3.8	13日	31日	
11	167.0	25.5	5.6	19日	30日	
12	210.0	47.0	6.8	17日	31日	

年間降雨量 1,093.5 mm  
 年間1日平均 4.0 mm  
 年間1日最高 54.0 mm  
 年間降雨日数 120 日  
 年間記録日数 275 日

冬期間(1・2・3月)観測休止  
 冬期間(1・2・3月)観測休止  
 (7月20日)  
 冬期間(1・2・3月)観測休止  
 冬期間(1・2・3月)観測休止

## (6) 最高・最低気温

(単位:℃)

月	最高	日	月	最低	日
1	12.0	26 日	1	-3.0	2・20 日
2	13.5	22 日	2	-4.0	8・9 日
3	22.0	31 日	3	-2.5	10 日
4	27.0	27・28 日	4	-1.0	8 日
5	31.0	25・29 日	5	6.0	10 日
6	31.0	14 日	6	10.0	6 日
7	37.5	13 日	7	16.0	10 日
8	35.0	3・4・5・6・9 日	8	17.0	25 日
9	29.0	3 日	9	11.0	30 日
10	24.5	1 日	10	5.0	25 日
11	21.5	5 日	11	3.0	27・29 日
12	17.0	2 日	12	-1.5	27 日

年間最高気温 37.5 ℃ (7月13日)  
 年間最低気温 -4.0 ℃ (2月8・9日)

## (7) 相対・実効湿度

(単位:%)

(計測は9時現在)

月	相 対 湿 度		実 効 湿 度		備 考
	最高	最低	最高	最低	
1	98.0	65.0	95.6	77.2	
2	99.0	52.0	93.5	74.7	
3	99.0	33.0	91.0	51.3	
4	98.0	30.0	86.9	49.4	
5	98.0	36.0	75.7	53.7	
6	98.0	54.0	85.4	62.5	
7	98.0	51.5	89.5	68.8	
8	97.5	67.0	93.0	71.6	
9	98.0	55.0	91.4	73.0	
10	98.0	51.5	89.8	68.4	
11	98.5	76.0	94.3	81.9	
12	99.0	60.0	94.5	77.1	

年間最高相対湿度 99.0 % (2月6・20日、3月12・13・20日、12月28日)  
 年間最低相対湿度 30.0 % (4月27日)  
 年間最高実効湿度 95.6 % (1月5日)  
 年間最低実効湿度 49.4 % (4月29日)

# 幼少年女性防火委員会



## 【幼年消防クラブ】

- 幼年消防クラブの結成率は100%で、管内すべての保育園、幼稚園がクラブ員であり、避難訓練、防火映画の上映などで防火意識の向上に努めています。

## 【女性防火クラブ】

- 女性防火クラブ数は1クラブで、家庭防火教室、広報活動、研修会など実施し、主婦の立場から家庭内で起こりうる天ぷら鍋火災の消火訓練や救急講習で応急手当の技術習得に努め成果を上げました。

## 1. 幼年消防クラブ結成状況

### 水原地区

平成27年4月1日現在

	クラブ名	所在地	結成年月日	クラブ員数
1	おとぎの国保育園	阿賀野市金田町9番81号	S60.5.20	114
2	分田保育園	阿賀野市上江端3751番地	〃	58
3	よろこび保育園	阿賀野市北本町11番38号	〃	30
4	たちばな保育園	阿賀野市中央町1丁目3番1号	〃	115
5	あやめ保育園	阿賀野市野地城91番地	〃	75
6	みどり保育園	阿賀野市緑町24番30号	〃	110
7	やすらぎの保育園	阿賀野市南安野町7番66号	〃	88
8	日章幼稚園	阿賀野市中央町2丁目2番40号	〃	45
9	ひまわり幼稚園	阿賀野市学校町6番13号	〃	83
	計			718

### 安田地区

	クラブ名	所在地	結成年月日	クラブ員数
1	安田幼稚園	阿賀野市保田3891番地	S62.5.1	40
2	ほたる保育園	阿賀野市保田3882番地	H4.4.1	106
3	風の子保育園	阿賀野市保田715番地1	〃	131
	計			277

### 笹神地区

	クラブ名	所在地	結成年月日	クラブ員数
1	みのり保育園	阿賀野市上高関107番地3	S60.5.20	80
2	すみれ保育園	阿賀野市山崎267番地1	〃	44
3	出湯保育園	阿賀野市出湯280番地6	〃	30
4	双葉保育園	阿賀野市金屋559番地1	〃	60
	計			214

### 京ヶ瀬地区

	クラブ名	所在地	結成年月日	クラブ員数
1	京ヶ瀬幼稚園	阿賀野市曾郷129番地	S61.5.20	49
2	京ヶ瀬保育園	阿賀野市緑岡3番地20	〃	168
	計			217

幼年消防クラブ員合計

1,426 名

## 2. 女性防火クラブ結成状況

	クラブ名	所在地	結成年月日	クラブ員数
1	分田女性防火クラブ	阿賀野市分田	H2.1.1	12
2				
3				
4				

女性防火クラブ員合計

12 名